

昭和三十三年三月十日招集(第四号)
第一回市議會定例会之議錄

館山市第一回市議会定例会々議録(第四号)

昭和三十六年三月招集

三月十七日(金曜日)

議事日程(第四号)

議案第三四号乃至第三九号 昭和三十六年度一般会計並に
特別会計予算案質疑

法第百二十一条による出席説明員

第一日目と同ト

本日へ会議に付く事件

議事日程に同じ

出席議員 名

欠席議員

午前十時開会

議長山本 昇君 本日。出席議員数三八名。これより第一
回定例会第四日の会議を開会いたします。

本日。議事は議案第三四号乃至第三九号昭和三十六年度
一般会計並びに特別会計下一括議題としてこれより
予算案へ質疑を行います。

審議の方法についてお伺いいたします。

……いふ議題と取りました。六議案下配付……
てまず第一第三四号一般会計予算案下歳入と歳
出の合算第三五号乃至三九号特別会計予算案下
一括します。三四号歳出の部より質疑を開始したい
と思っておりますが、これに御異議ありませんか。

(「異議ナシ」と呼ぶ者あり)

議長（山本 昇 君）御翌議と認めます。

よ、てまよう決定いさしてなお発言の際に頁
とお木ー下まるようお願いいさします。

三四号議案歳出の部より質疑に入ります。

二五委鈴木市藏君一二頁諸手当の取員手当の中で一日の
議会で福祉主事は結核患者と訪問するとそれに対し
て危険性の伴う マル鳩山荘の取員に対しても特別
手当と出すというふうな御説明があつたのですか
これは結構だと思ふ。 しかし危険手当というふうな
ことを御説明にすると市の中にはまだ――例えは自動
車の運転手^等は福祉主事以上に危険だと考へるもので
あります。これに対してどういう理由で自動車の運転
手に対して危険手当と特殊手当というものを下すのだら
うか、この点御答へ願います。

市長(田村利男君)御指摘ごも、ともは御意見でございます。各市におきまして、これに対する危険手当というものは、今考慮中でございます。――館山市だけがそういうものを作らないというわけにはいかないので、私自身車にのって東京千葉に通うということでもなくとも、館山市内だけへ問題にしまして、もうそういうことも考えるときに、またということも下へおね――考えてあります。また、いろいろ関係者と相談の上、善処したいと考えてあります。

○二五番 鈴木市蔵君 市長さんの御答弁の中に、他の市もそういうことが設けてない、それ故に館山市は考慮中だ、というふうな答弁でございます。が、それならば他の市が破産したう、館山市も同じように破産するの、か、こういう理屈になるが、この点は、どうでございませうか。

市長(田村利男君) 運転手は運転手という駄勢によつて運

転してゐるわけではございまして、もつとひうたぐい、ま
すれば運転手という駄勢によつて危険というものはあ
るわけではございまして、といつてこれを傍観してゐる
わけにはいきません、こつちうような事情によつて

―て今後十分研究さうていくつもりでございまして、

二五番鈴木市藏君(それでは市長さんと―ては研究の結果
つけるとこつちうふうで考へてよろしくうございすか、

市長(田村利男君) 研究の上やるように処置したい、

三三番山口幸三君(五四頁 市長と交際費が二十万市へ交際費
九十五万計さうてあります、市長の交際費は、どうい
う方面に多く使われているのか、どうもわかりやない点があ
ります、二、三参考に例を述べてもつたい、

助役(小出武男君) 予算。歳入前といつてさうして市長と交際

費と市支際費二本に分かれておりますが市長支際費は市長が債権者として執行し得るものと市長支際費として区分してございます

市支際費の方はやはり市政振興のため便う交際的な費用でございそうですがこれが経理については一般の支出と同様ふうに債権者であるのと同じで、執行してあるということで大體この区分は御承知願いたいと思ひます。なおペリニへの関係は市長支際費の方で大體処理してあるはずでございします。

○三三委(山口幸三君)もうサ―三三例を述べておういまいと思ひます。

○市長(田村利男君)主に官庁関係並に市職員の必要においておす場合は市支際費より市長が行政上円滑に行、ていくための費用は市長支際費大體

大別してこのようになつております。

三三 釜山に幸三君にこれだけの予算下計として余るので
すが、あるいは足りなくて窮乏にいらるのですか。

○ 助役(小出男君) 支障費でございまして、市政と円滑にしたいと
のためには十分に使つて市政と円滑にしたいと
いう考えをもつておりますが、この種の費用というも
のは俗は言葉でいふ、すすめば幾うあつても金で
ございまして、かうやけり市の規模におきまして、
山市の事情も考慮してまた従来は慣行といふ
もの、基準といつても、大体この程度で十分
とは申しませんが、やり得るという考えでございま
す。

三三 釜山に幸三君、もう一つこの支障費へ使ひ分けにつ
いてあるかはすう／＼とある方面はしづるとか、そ

ういうことはないか、

市長(田村利男君)市長の良識においてこれを執行します、
三四番(松本藤太郎君)市長は際責について三三番議員から
質疑があるのです、私もこれについてお尋ねします、

昨年より二十万ふえて下ります、今助役さんのお答は交
際費はいくらあつても余ることはない、足りない位だ、

こういうふうな答です、これはちよつと私不審な点
があります、どうして今更二十万ふえたのかその点一つ、
それかう昨日の木村屋にあげるあれは同じく市長は際責
であるかその点下と同じしたい、

助役(小島武男君)本年を予算におきまして昨年に比べて
二十万増加いたして、それがこれは今申しますように本年
度の執行状況から考えまして二十万位増加する必要と
認めまして、それで二十万増額いたして、

昨晚のあれで丁が、これは市長招待ということではない
ます、かようお含み願います。

。三四番松本藤太郎君市長招待であられるけれども中身が違
う、こういうことですが、これは館山市に進出する大
島工業の、――市民が待望してゐたところの企
業が館山にくる双手下で、この館山市進出を願
つてゐる。その成功を期待してゐる。――昨日
木村旅館に於いて大島工業の社長は、館山市の
有力者が加わり、そうして市長招待という名に於いて議員
を招待してゐる。これは一体どういふことなのか、私はし
ば――この点について申して、大島工業館山市に
進出する結構だ、双手下で、賛成する、し、これに
ついては企業誘致条例の第三条の問題がある。
市長の企業誘致委員が諮問を受け、よく正しくそ

の適用に承認してもその前に一ぱい飲ましておいて誤解がある、とはいけなから反対した。もし企業誘致委員の諸侯が企業誘致条例第三条の諮問を下りた時にその適用を保護するやうは問題はないでありまして、その一つれを承認したとするやうは、その前に利益を受け、る会社から供出をうけた、これに対してどう弁明するか、そのやうな場合議会で対しての信用を失墜させることと、市長は行つた。市長さんは大に誤り下行つたのではないが、このやうに考へます。これに対してのお考之下、お聞かせ願ひたい。

市長(田村利男君)昨夜の木材屋旅館招待でございまして市長におきまして市に進出の会社である大島工業、これは今館山市の地理的条件におきましてなかくよくてくれ、たいやうな大会社と市長において解釈されまして、そので

会社側が皆様に会いたいという希望もある、また議
 会の大多数が市長招待で会社側と会ってもよろしいという
 意向が明うかと知りまして、こので市長において適当な処
 置下と、なというところでございます。

三四番（松本）藤太郎君 市長さんは固定資産税の免税を行
う。そういふ大きな問題が今後残されてゐる。その
免税をするかしないかの鍵はこゝへ諮政委員十人の手に
握られてゐる。その十人の人なういふ知らず議員全
部下招待してゐる。私は市民の誤解下受けぢやないか
ぬというのと下は、より申しあげた。民主主義におい
ては少数の意見も尊重しなければならぬ。それに
却つて来なくない者は来なくといふ、これはいゝのですか。
館山市は非常に円満にそうして住民のにとり考へ
てゐる、まゐりてゐる。その中においてこういふことが

あつては困る。適切だといふすが私は適切でないと思ふ。固定資産税免除の問題になつたときにかゝり市民に對して言ひ分けができません。例へば正しくその税を認めてもその前に利益を得る会社から供出を受けるまいという面から不信を受けるのです。

市長さんは適切だというけれども絶対に適切でない。このように考へております。これについて●の批判も、ではもうつきてゐる。これに對しては市民が判断を下すであります。その点だけ申し上げておきます。さらに一般債向下は行いませう。

五九年度に節市の伝達業務をございまして市内に多数の町内会部落会が自主的にござりて市の業務をやつておりますがその内容をお知らせ願ひます。

次に十一年度に四節工事費の三十万ですがこれはどの何下

やるのだ、とか教えても聞いてない。

それかう舗装道路でございすすが道にいいやうしてても
施設しててもすべて市民には公平に与えてやらなくしては
なう正しいはずであります。さ、二、三歩みると北条の中心
街で北条を中心として舗装が活発に行われてゐる。
なるほど人も多数であります。さうがしかし政治は公
平にやつてもらうまい、かような意味かうお尋ねす
るのですが五頁、二九頁に舗装工事がありますが
こゝにまとめると館山市は舗装下やるところはこゝの地区
下どの位ということも教えていたらない。

次に教育長さんにお尋ねいたすが一五頁營養費で
ございすすが昨年館山小学校の便所が五つか六つあつたと
土台が全部腐つてしまつた。さうしてつばが非常にお籠の
やうに残り、従つて一日でもつてあふれてしまふ、こゝに

うことではあるが、これは三十五万円かけて
五年で回していただきます。肉違ひありません。やります。
こういうこと、昨年は、しゃってある。一か一去年
一つや、なまりで、今年はまだ予算にのってない。

これはどうしてかうなつたのか、その点一つお尋ねする。
。総務課長(山口 実君)五九頁諸費の報酬について申しさる
ます。

昨年は一世帯当たり七十円支給して、おつたもの、今年百
円に増額いたしまして、昨年は支給総額二十八万円、これは
本年三十九万二千円に増額しようとするものでございま
す。それと委託料でございします。これは市の
町内会にお願いして、いろいろございまして、やはり
基準は一世帯七十円、今年百円にいたしまして
昨年は総計において八十七万円、今年百十五万計といふ

います。以上でございます。

。建設課長(新井重助君)に答えたいです。

十二頁水路の工事、所でございますが、これは那古小學校の手前に県道下横断して排水路がございます。これは「藤の木」排水路と申してあります。これももう一つ六軒町伊藤屋の下へ排水路が非常に悪いので、これをやる。このような内容でございます。

舗装の問題でございますが、私も道路の維持につきまして、平素非常に苦心してあります。それは

御承知のように砂利がなくなると、きつという問題があります。そして、県外へ砂利にするというところ、一平方メートル六十円かかる。これが買えれば路面の維持が完全に参ります。しかし、それが全線にわたってやると非常に莫大な工事費がかかります。

本年より船形方面に舗装をやつてございます。
 一、それにも工費が一平方メートル四百五十円程かか
 りますのでその三分の一の負担金下りてゐてやつてエリ
 ます。が、これも交通量に比例して工費がかかるという
 ような肉題もありますのでいろいろ考へて、今
 後はもう少く、一平方メートル二百五十円程かか
 り舗装をやつという方向にもつていきたいと思います。
 ます。

七五頁の舗装でございます。が、これは館山小学校から浜に
 入る館山港線、果道から館山桟橋の海岸沿ひに道路が
 ございます。これは果道でございます。その舗装
 と並行いたすために、これ下やつてエリます。三五年来
 やつて三六年来六メートルやりますと市道が
 完成いたつたので、それ下やつていきたいと思います。

一五九頁大村事業の舗装　これは館山澳港に航空隊の手前から入る道路で坂が急なので手入れてもすぐ路面が壊れてしまうという関係であそこへ舗装をもっていく　夫村事業でやりますので道目もあり完備してあります人のごみクリート舗装ということでも長々本年交一六メートル幅六メートルに仕上げる計画でやっております

教育長(工藤和子君)館山十学校の便所の件でございますが
教育課程が全面的に変わりますので三六年度から完全実施
こういうことになり、かわけでございします。従います。かわけ
の重点是教育内容の充実ということになること、
中学校の生徒急増による本市においては六九〇名の増で
ございします。それがそれの対策と相まって教育内容の充実という
点に力を入れて重点を注がなければならぬ情勢に参ります。

ためりてござります。従いまして中学校の技術家庭

科の実習室の増築、それから三ヶ年計画による

理科の振興の予算はいは技術家庭科の購入に相当

ござります。がそういうふうなものに重点を置くに

便所の方で手を回らなければ、というのが実際にござい

ますけれども今後、財政とにうみ合せたんに申し

ますと更正追加であります。す場合には十分考慮して

参る、というつもりでござります。

三四番（松本 藤太郎君）舗装の方ですが今年もやるのはこの所

で、こういうことですが、

建設課長 新井重助君 さようござります。

三四番（松本 藤太郎君）館山小学校のことと下申しをされたので

すが教育内容に重点を置く、これは当然です。今年

のういゝない、去年あんな方は便所がこういうことでは

困る。一年にはなほせないう一つずつなあるていく、
あんたはそう約束された、それで教育の内容に重点
を置くのだというような答弁では私たちは了解でき
ない。毎年一つずつあるていくかう昨年より多く
お願いするすといふた、今年から教育内容に重点を
置くわけりるはない、今まで重点を置くてなか、たうで
すが、そういう言い方はない、いかも教育費のことにつ
いて一番正直にやることとて教えているところの責任者が
議会にむいてそういう食言をしてい、のです、質問
がなければそのまゝ、ほう、まあよくでしよう、なぜ直
にそうであ、ないうこれと十一日に説明しないんです、
去年約束されけれども今こいうわけでやれませんてい
ということと報告しない、詫言であります、財政事情と
にうみ合せてと、そういうことと教育関係の方はいうじんじや

ありません、は、ま、お、ー、や、で、も、う、い、い、

教育長(工藤神平君) 教育内容の充実ということについて説明が足りなか、たようでご存じますが、実は指導行政の中で指導主事というものが従来なか、たわけでご存じます。これは教員の資格でそのまゝ活用しているというような状態でありました。そこでこのことは現場の教育の力と削減するといふ、にようなことでやがてくいいわけます。市営自分で指導主事下あり、こういう事情がありまして今度特に予算下廻りで指導主事下＝名ふくと、いったような人件費の増というものが相当あるわけでご存じます。こういうの、べきならぬ費用が急にでてきたかようなわけでは私は昨年の約束とその場限りというふうな気持ちも、とあります。予算とにらみ合せて執行していい、こういう気持ちでご存じます。

三四番 松本 藤太郎君 そういう気持ちならば、ぜひ提案してとくに、あー、うまいが、それなら私はこういう質問はしません。今後あなたの方のいうことと信用できなくなる。今年お中にやりますか、どんなこととて、これも追加でやりすすか、それだけの覚悟がありますか、

教育長（工藤和子君） やりたいと思っております。

三四番 松本 藤太郎君 確信がありますか、

教育長（工藤和子君） 先ほど申しましたように予算とにらみ合せてございますので追加更正予算があります。なう、これは確約できないわけでございますので、やりたいという申しわけです。

三四番 松本 藤太郎君 そういう答弁は、よくない、必ずやるように最善の努力をするということと、あー、や、て下さる。

。教育長(工藤和子君)でござるだけ努力ござります。

。三番(三沢節君)教育費について御質問ござります。

予算書に二百万という技術家庭科の予算が細く分けて
 あります。これは昨年から引続き三ヶ年計画であ
 ります。というふうに承けてあります。けれども現在
 この程度まで文部省の基準に沿って実行されておる
 か。また三ヶ年目来年分において全部計画が終了する
 けれどもこの程度までいけるか。

先般丸山中学の文教視察に行きました。あのゆず
 かな予算の中で、あ、い、う、な、な、な技術家庭科の教
 室も、てあるのですね。い、う、す、が、あ、れ、は、ど、う、程、度、に、

文部省とどうは認めてあるか。そうい、う、な、点、の、御、説、明、

下、願、い、ます。読、い、て、丸、山、中、学、が、あ、れ、だ、け、な、な、な、校、舎、

と技術家庭科教室下も、な、という、こ、と、統、合、に、よ、っ、て

のゴタ／＼が、えつてプラスしてある、いうもので、また
ということが考えられるのですが、またまた学校が一つで
ある、重点的にその学校に施設が設けられるというところ
にあるかと思ひます。そういう観点からいふと、
現在、館山には中学が六つございしますが、将来統合する意
思があるかどうか。

第三に昨年度市の文教施設を視察にいったところ、その
教育長のいわゆることには昨年度かうP、T、Aの学校の施設
設に金を出してはいけないう通知がきたというところ
聞くと工藤教育長にもその点も聞きたいところだとい
ます。P、T、Aの学校施設に寄付は行方してはいけな
いというところなるあつたには本市ではいかような計画の下
に、いかに施設をするか、心構はどうなっているか、お尋
ねします。

まうにもう一つは指導主事と本部長かう置いた、これは
は学校内容の整備とともには当然のこととてござります、
今まで学校の職員がわけてあったのですが、その職員を
零々して新しい主事一人を設置したのかどうか。

もう一つは社会教育方面で市長さんにお願いします、
市長さんは先般の社会教育委員会のように体育館も結
構である、やる意思もある、まうに高井地区は野球場
を設置したい、すでに四千坪と市長と相談して大体でき
そうぞ、まうに六千坪位設けて最低一万坪の野球場
を張りたいということでは、より申されております、
これは非常に結構だと思っておりますが、これの更進の内容に
ついて御答弁願いたいと思っております。

教育長 藤和子 君 回答いたします。

最初の技術家庭科の問題でございますが、これはつ

つゞつゞては文部省に設置基準案というものがござい
ます。それの最低備品々目下算出されたわけござい
ます。そうすると九百四十万という数字がでてます。た
この金は本市の教育予算では莫大の金でございます。
で三ヶ年以内で三ヶ年計画をやつていまして、という計
画でも、わけございます。第一三ヶ年の三五年分
にふつゞては三百八十万計という三ヶ年分
の三六分は二百万円。こういうことございますので
まだ半分にみえない現状でございます。従つて
これも今後の予算と組み合わせるだけ早く
充実にしたい考えであります。では最初の
計画の三ヶ年ではほど遠いような感じをもつてい
るわけでございます。

次に統合の問題でございますが、これは適正理
想の学

校に統合するということは教育効果の面からもちろん必要でございます。従いまして教育上の見地からすれば当然統合すべきものと考えられるケースが市内の中学校の中にもあり得ると思っております。――のりなからいへばつゞき――では市民の理解と協力が必要では統合するものとばかりいへず――の問題でございますので、これらも十分考慮いさ――でござるだけ教育の本旨に沿って成績の上るよう可統合するまいと思つております。

次のP.T.Aが学校施設に寄付することは禁止されてあるかというところですが、これはお話しの通りでございます。――従いまして私も毎年に需要費の増額と計画いさ――でござるだけ父兄の負担軽減に努めたいつもりでございますけれども、まだ寄付というものは

全部除外するところまでは甚だ残念でございますがい、
てありません。この点につきましては、
まきなり重なりぬように今後努力したいと思っ
ております。

指導主事につきましてはお話しのように、現場、教員下
現場に戻していただく。今後、指導主事は兼任ではあ
りません。新設のものでございます。

市長(田村男君) P、T、Aの問題についてお言及しますが、去年
P、T、A、会費を下げる目的のもとに各校で一挙にP、T、
A、会費を下げるよう通達したところ、北条小
学校だけが下がりません。その他の学校は下がらない
というところを申し添えます。

次に、館山市スポーツセンター、市民運動場というような
問題でございますが、市におきまして、将来公民館

下幕ねハスポーツセンター四千坪位で二千人前後収容
できるもの下作リハい意思下も、マエリます。

ハ別別ハ市民運動場というものはちよつとふかきーいの
ですが少くとも市民野球場というふうなものハ大体一
万坪あれば公営野球場でござんけんけれども市民の運動
野球場あるいは都合よくいけば職業野球の冬季キャンプ
の用にも供するにも十分でござりますので地え役員たち
と折衝ハ上早ハ機会に定成と急ぐつもりでござります。
三妻(三沢節君)技術家庭科の整備が現在何%にな
つておるかでござん、たとまにどの位にいくかという説明
お落ちてマエります。

それと丸山中学がどの程まででござんて文部省の理定に
どう位あてはま、てあるかということも説明がなか、た
ので合せて御説明願います。

それかう学校、統合問題についてできるだけあ、い、た
かなな学校は統合していいわ、っていいという念願の下に質
肉、なわけりてございます

P、T、Aの学校に対する援助という問題について今市長
さん、P、T、Aの会費を下げろということと、いいわね、て
あります、私、いいわね、そればそうではな、い、のでP、T、Aの会
費のうち学校援助費を下げてもいい、い、のでP、T、A
の会費は五丁月とろうが、各市の自主的団体でありま
すので、おまね、い、と思、う、会費を自分たちの運営に
使、て、もうえ、い、い、ので学校の援助をなく、て、もう、い、た
い、というところが私のね、う、い、で、い、います、

それ、かう野球場の点でござ、います、す、が、こ、れ、も、私、は、心、か、う、不、
満、するものであります、す、け、れ、ど、も、現、状、に、お、い、て、大、き、な、ニ、ヶ、手
継続、へ、一、尿、処、理、問、題、に、ぶ、つ、つ、り、ま、す、避、病、舎、の、計、画、も

ある。従いまして野球場も結構ですがまだ――やる
 必要のあるものがあるのではないが、また学校についても
 大正の大震災で建てたところへ建物はまだ残っており、
 そういう現状においてまだ野球場に目をつけてるのは早
 すまるのではまいかというような意向をもっておりま
 す。が、これに対するお考えを伺いたいと思っております。

教育長 工藤 和平 君 先ほどのバーセニテージの問題でございま
 す。が、これはまだ五〇％に満たないということになるわけござ
 います。すが、実は技術家庭科の備品と一般の教員用備品下
 含め、バーセニテージ下御参考に申しあげます。

三五年三月にこの調査を行いましたところ、小学校にお
 いては六五％で三五％の不足というところにあります。金額に
 見積りますと三千五百万円という数字にのります。

中学校におきましては大体四九％金額にして四千九百

二十万円の――今後大いに努力せねばならぬことと
深く認識してゐる次第でございます。

次に丸山中学校の技術家庭科の設備でございますが
これは何となく指導に近いものじゃないかと私も
目を見れば、てゐるわけでございます。

市長(田村利男君)運動設備の問題でございますが除々に
この機運が高められ、てゐると思います。

三菱(三沢節君)一応了承して――でよろわけぬ努
力願つて館山市の教育のために尽力をお願いいたします。

三菱(田村喜兵衛君)過日問題になつた幼稚園の問題は委員
会付託となつておりますがまだ何らの報告もなく予算
書下みれば六百円のものになつてゐる、これはどう
いうふうになつてゐるか。

議長(山本昇一君)議長から報告申してあります。

十日の本会議に於きまして文教民生委員会に付託となり
 ました幼稚園の保育料の問題でございしますが委員長
 が病気で寝ておりますので十六日にでてくる予定でござ
 います。それが依然としてでまぬまでせんので昨日文教
 民生委員協議会下開いていた間に結果明日委員
 会下開きます。この問題と討議することになつて
 ありますので御了承願います。

○三 栗田村喜兵衛君 今議長から委員長が不在である。こ
 ういうことであります。が委員長が不在であれば副委員
 長が会議を開くのが当然であると思ひます。
 何のために副委員長があるのか、

議長 山本 昇 君 私へう申へるが、

実は委員長がこの問題についてぜひやりなさいという御
 希望でありましたので委員会の皆様は相変り

そして委員長が来てからということであつたのですけ
れども委員長がでうれないので副委員長をやること
に
なつてありますので御了承願います
習時休憩いたします

一一時一五分休憩

一一時三五分再開

議長 山本 昇(君)休憩前に引続き会議を開催します

ニ九番 遠山ヨネ子(君)五一頁市役所員の更員給について
ますが、この中の三等級までの中に女子職員が一人でも入
ってあります。それと女子職員で最高何年位勤
めておられる人がありますか。

次に土木員で調査員がおりますが昨年道路調査の

ことでお聞きのこととは市道に寄付しても寄付は收
受を行われないために道を狭くする、あるいは今
よりしてある。去年そういう質問をしても下す、なか
後するということはお話でも下す、なか
どうかお聞きします。

秘書課長(山谷満昶君)現在女子職員で三等級の職員は一
人もありません。なお女子職員の最高勤務年数は
一七年九月でございます。

建設課長(新井重助君)市道に寄付したという道路が狭
くなるというのと、私まだ聞いておりますのでど
この箇所がわかりませんが従来道を付けなかつた
という問題が相当あるのでございます。それについ
ては除々に解決してありますので全般的にわたり
ましてといたうということは申しあげられません。

それと発見いたして、でんく整備してやっております。
まず、今後土地の値よりそういう向題もございますので
なるべくそういう箇所は早く工事下や、ていまして、
かように考へて去年よりから相当やっております。
三九委(遠山可ネ子君)秘書課長さんにお尋ねいたして、まずが
三等級までないと思いますと四、五等級だと思ひますが先
ほど最高が一七年勤めておるといふことでは、これがこの
方がどういふ方が存じませんが、場所によつては、仕事に
よつては女子職員は男とハニデーがあることは承知して、
まずが一七年勤めて四等級であるといふことは、ずい分
用があるのですけれども、そういう女子職員に對して
将来というのを考へても、ていつてやるか、それと一等、二
等、三等と分けてありますから、これはどの程までの役職に
やつておられるか、もう一度お尋ねいたします。

秘書課長(山谷潤和君)市役所の吏員は段階をつけており、
 一で一等級には課長、福祉事務所長、観光事務局長、診
 療所の医者、消防署長、議会事務局長、教育委員会
 事務局の課長、農業委員会事務局の課長、二等級に
 は課長補佐、福祉事務所長補佐、収入役室主席、診療
 所の事務長、査察指導員、消防司令補、送管書記
 長、三等級は係主任、看護婦長、出産所長心得、議会
 事務局の主任、教育委員会事務局の主任、送管の
 主任、監査委員会、主任、農業委員会事務局長補佐
 となり、より下はその他の吏員は全部四等級でござ
 います。三等級はより下と一係の主任でございま
 す。でその主任の下には吏員が幾名かあるわけござい
 ます。女子職員であつても主任として適任であればい
 つても主任に任命するのゝごひです。一か主任の

職にあまたバツケルはいくら通任であつても主任の職には
つけられない現状であります。また女子職員だけが
年数がたつても主任になれない、そういう意味のもの
でもありません。男子職員に――ても二十二年四月
とか、一九年、ミウいう職員でもまだ主任になれないよ
うな職員もおるわけでございます。現在棒給で
申しますと女子職員四等級十八号が最高でございます
です。男の職員に比較してそんなに劣つてゐるとは
考えられないのでございます。將來いつでも主任に
適する場合は、そのポストのある場合に主任にいます
考えでございます。

二四番江田徳太郎君二四二頁商工会議所補助金に對して
御質問申して下さる。

過日商工業者の育成というところ考へて通告質問でも

申しエグなのであります。水産業、農業等におきまして補助金という点に負担金として三分の一地元負担で三分の二の補助をしてやうである状態になっておりますが商工会議所の各行事に地元と申しても商工業者の団体であるから三分の二で市で補助していただく方が、お聞きしますと、特に商工業の育成につきましては、筋が違ふようにも思いますが、昨日の木村屋の件で市長さんに伺います。先ほど松本さんが供応して、いと申しられますが、私は市長が一献差して、エグなという点とであつて、大島工業ハウジングという点とは違ふません。また、そういう面で誘致するにあらざるか、め合合と申します。そのために供応だというのでは誘致する点とは違ふないと思ひます。

市長さんに伺います。昨日の木村屋の招待は市長招待

と思つて参りました。皆さんもう思ふと思ひます。が
この点

。市長(田村利男君)商工業育成のために市はいろんな努力を
してゐるわけですが、例へば館山市全体の祭りで
あるとかいろいろ問題の場合に市が適当にこれ下負
担するといふ考え下も、てあります。個々の問題につ
きましては大体負担しない建前下としてあります。
といふことは農業者等が、以前も国、県の負担金が多過
あるといふこと下述べたわけですが、法律によ
められ、義務負担でありまして、それ以外のことは
努めて避ける。の現状でございします。といふふうな意
味におきまして、全館山市が一丸となつて購買力の増進
に努めることによつて商工業者に対する市の考へ方と
いふもの下、その方にも、ていくように市長は銘

記してや、て下りますので決して租不にしているとい
う考之は毛頭ありません。

二点といつて、昨日の新村屋の宴会は市長が皆
様を招待して、とは間違ひありません。

・四番(江田徳太郎君) 現在の商工業の団体は市街地だけの
ものになつてゐるうちに考へます。農村地帯の業者は
会費が高額であるために負担が大きすぎてどうして
も入れないで困る。市全体の商工業業者がぜん入れるよ
うにしていくのが市のめんだと思ひますので、今後
中小業者の育成につとめて御指導いただきます。て
もつと入れるようにお願いいたします。

議長(山本 昇君) 暫時休憩いたします。

一一時五五分休憩。

一時一五分再会

議長(山本 昇 君)休憩前に引き続き会議を開きます。
大いまいの出席議員数三名 午前中に引続き予算
案に対する質疑と続行いたします。

四番(志村信作 君)一昨年の十二月の定例議会で館山市立
のスポーツセンターを建てるお考えがあるかと質問いた
して、一昨年の必要があるから建てる考えである。そう
して五六年、七年の二三年で予算化すると答弁があった。
ところが今回の予算下みると全然それと細みついてな
い。先ほど三番議員の質問に答えて必要があるから
将来考えようということだったが、三六年七年で予算
化すると言明されておりました。御都合でどうなつたと
伺っておりますが、これを取り消してまた何年度かう

始めるというお答え下願いたいと思います。

市長(田村利男君)でよろだけ早くやりたいという気持はある
 ということは間違いないあります。人がどうしても何よりも重
 点的に尿処理の肉題があって心境の変化と申しまし
 ょうが、財政のやりくり上本年度は当初予算にのせなかつた
 わけでございます。従って今後でよろだけ早く機
 会にスポーツということには青少年の伸びる育成の場であ
 りますのでスポーツ会館を作りたいという熱意をもつ
 ているわけでございますが、志村議員は追加予算でもこ
 ういうふうな即希望があると思っております。今のと
 ろう大事な仕事でありますので、追加予算でやる
 性質のものではありません。人で追加予算では困難だと
 思います。といって三七年、八年の経費でやるかとい
 うお言葉のようでもございますが、その点については

もまた市長はウツテいうことにもなりますので強い熱意をもって早い機会にやるといふことで御了承願ひたいと思つたのでございます。

ニ五番 本市蔵書全部の課長さんに御答弁願ひます。

本市は一年間、燃料というものが指定入れで行つてゐる。その中でございまして、館山市ではそれで行つてゐる。といふ。この事実はございまして、一つこの点について各課長は一人一人自分の各款の燃料費下への伝細んであるか御答弁願ひます。

総務課長(山口実君) 市役所費関係で申しあげます。

五三頁 一ニ節の燃料費自動車燃料費として七十九万四千円、プロパングス代十八万円、暖房用として七十九万二千二百円、合計百七十六万七千二百円。

次に五大支出場所費におまして五万円。

次に大車庫消防費自動車燃料費として二十八万九千四百円、薪炭代十三万六千四百円、合計四十二万五千四百円計としておきます。

六、大車庫消防団として消防自動車燃料費三十二万三千九百円、夜警用薪炭費二万四千円、合計三十四万七千九百円計としておきます。

七、福祉事務所長（長谷川 広治君）一二二圓の燃料費オートバイの燃料費三千六百円、保育所におきまして若干おきますが、これは隨意契約で近場で購入しておきます。

八、建設課長（新井重助君）土木費の燃料費としておきますが、大九圓八十六万一千円、自動車三台分の燃料費とローラーの燃料費を見込んでおきます。

九、水道の二万七千二百円は停電の場合にモーターが動かさず、そのかすり代としておきます。

一一八頁 公営住宅費で二千円 これは自動車、燃料費で
ございます

一二・頁 四千円も貨物自動車、燃料費でございす

。厚生課長(伊藤幸太郎君) 保健衛生費では一二三頁 予防接種
費におまして一千五百円 同様に伝染病予防費で一万
二百円、二四頁 八千五百円 火葬場費で七千六千四
百八十円、二六頁 狂犬病予防費におまして一万二千
八十円、消毒費としまして六千円、清掃費といえ
まして二十六万六千八百円 以上合計、まして四十七
万九千七百六十円

。農産統計課長(吉田耕一君) 農林関係、燃料費について申し上
げます、総額十八万千円計でございます、その大体
は自動車、燃料でございす

。商工水産課長(羽山房雄君) 観光費におまして一四四頁

駟裡船の燃料費重油と点火用のガソリン合せて六千四百八十円計といふ。これは別段見積り合せ等してあります。

なお特別会計休養施設のプロパンガスのみ見積り合せてよって最低者と契約して購入してあります。

保険課長神作啓次郎君一八六圓の燃料費一万五千円は車輛用燃料費でございます。

一九八圓の三万九千円は車輛用と薪炭費でございます。一八九圓八百円は器具下消毒する木炭の費用合計五万三千八百円をお願いいたします。

税務課長(多田俊一君)六千円計といふ。これは納税組合運輸用徴収用に新しくスーパーカブを購入したいと思っております。その燃料費でございます。

庶務課長(鶴江貴寛君)八。員教育費の委員会費で

三万月は委員会でも、てあります。三輪車の燃料費でござ
います。

小学校費で三万、これは一三校分でございます。

中学校で三万月、七校分の燃料費でございます。

高等学校費で四万月、幼稚園費で五万五千月、六校

分、その他社会教育で六万五千五百月、合計して六十八万
七千五百月でございます。

。助役（小せ武男君）以上申しましたように各課にわたりま
して相当燃料費を計るにござります。が、これは購入方法
という、これは大体現状は石炭当りは入れでやりま
すが、他の燃料費におきましては協定価格がござります
。て、当初見積り合せて、市価価格よりも若干低い
価格で購入してあるのが現状でござります。し、
自動車も多ござりますので、将来自動車の修理工場

話題もあるようにガソリンそのものとタニクでも作ります

一で一括購入の道も考えられるのではないかと思っております

が現況はそこまでのことではないと申し上げます

・五重鈴木市蔵君 今答弁下申しているところ膨大な予算だ

と思っております それに対して地市のように入れでもって

これとやるという方法にも、いい、たうい、んじゃないか

と思うのですが助役さんの答弁でよくわかりました

ぜひ一括購入の道も考えて至急にやってみていただきたい

最後に参考の伺いたいのですが今答弁されまして総

合計は幾らになりますか

・総務課長(山口 実君) 一般会計特別会計合計いまして

五百八万円になります

・二番(脇田 順一君) 教育長さんに伺います

御承知のように地財法の施行金が改正になりました

四月一日執行に及びます。下から今までのようにP.T.A.に当然市町村の負担すべきもの下転嫁することになるのでなくなつてはまずであります。そこで御同様のするのです。が今回の予算に従来P.T.A.の負担するもの下負担しておつた額がどの位あるか、そしてそれはこの予算に基き、年間の繰入れてP.T.A.の会の会費下軽減する覚悟であられるかどうか。今まで政府の方針もP.T.A.の負担軽減ということ、始終心下使つて、また先ほどの市長さんのお話のようによつてきたのであるが、どうも不徹底、今まで教育長の訓令でも、P.T.A.の会費軽減の方で指示してあり、その訓令の結果として実施されたかどうかについて一片の報告もない。従来P.T.A.という存在は子供の教育を中心としていり、ゆるい支援団体、どちらかというところ、物質的な支援団体という点も確かに

あつた。教育の民主的な経営というところの主眼は
 あつたのであります。この際 P、T、A の性格が一変しな
 ければならぬと思つたのであります。子供の学校に
 対する物的な援助の団体ではなくして、たのであります。
 P、T、A 本来の父兄の自己教育の団体といふ、まさか
 そういふものならば子供の教育を中心にしてお母さん
 方が自ら教育していかなければならぬ。
 特に父兄自己教育の団体としてでありますならば
 金銭は下らないかも知れない。しかし従来は非常
 に物的な援助団体という姿が濃厚でありましたから
 それは大幅にこの際下へまきつけられなければならない。
 それから考えようによつては大変微妙なことになり
 ます。が、学校の備品、設備並びに教員の給料、これら
 は地方団体が当然もつべき部分で、今まで父兄が寄附

とかの名目でやゝしてあります。そういうものは、際
なくさうなければ、うぬと思ふのであります。教育長
さんのお考えはどうですか。テレビを寄付するとか、P、T、
Aが自ら進んで何の設備もして上げるという、たゞうなも
のは、地獄法の改正に陥れませんか。もしそういう
ものでやられるというところ、執行令は空文になって何う
か、P、T、Aの負担軽減にならないという事態になりますか。
この点、教育長の解釈を承りたいと思います。

○教育長 藤和子君）え、今P、T、Aのあり方につきまして、
お話しはその程度であります。地獄法の改正によつて
住民の負担が軽減することには、できないというの、はその
通りであります。ところが、館山市におきましては、御
承のよう、に需用費、下等々上げてきたという、その根
拠は、である限り、父兄の負担軽減というところに、眼目が

あったであります。

新年おの予算につきまして是人件費例之は給食費
人件費等は断りてP、T、Aにおんぶらないというこ
とで予算に計えようとした。まあ校舎の修繕費
につきましてはでも限り予算下多くなりまして父
兄の負担をできるだけ軽くしたい。こういう意味で
その点は同感であります。又地賦法にきめられた
かう今後その通り全部いくか。もう寄付をうけた
場合。それは違法になるんじゃないかというお言葉
です。そのことは私も同感であります。過般
教育委員会議の際に山下教育長に迫ったのであり
ます。果はこういう考をしておるか。地賦法の適用
をうけるほうはP、T、Aに公平でまかなうべきもの
は取壊すことにはできないけれども果は学校に

て質問下さいたのであります。その際山下教育委員の
答弁はお話りのように微妙な点がある。これを一挙
に解決することは果自体も地方もおそうくお下り
しい問題ではないか。こういう答弁でございまして
私も同じような答えをせざるを得ないと思いま
す。なお各学校のP、T、Aへの金貢下り下げたというが
上っているのじゃないかということですが調査します
と二年が三三年から九十月であつたのが四年から八
十月。北条小学校が三三年度に一人きり五十月、二人以上
の場合は七十月というのが三三年度になつて四十月、六十月
那古小学校が百五十月であつたものが百二十月。西小
学校五十月、四十月、四十月、三十月。豊房小学校
の四十月が二十月。畑小学校の五十月が二十月、あ
うり下つていゝわけであります。その他の学校にお

まゝでは横ばいの状態であり、まゝなので今後需用
費をとると並行してPTA会長、校長を督励して
負担の軽減をはかりたい、こういう気持ちも、まゝあり
ます。

ニ 養 賜 田 順 一 君 もう一つお伺いしたいと思ひます。ことは

全般学校^各で回ったのであります。そうして理、振法に

かけられて学校は理科設備は非常によろしい、しかし
今までの理振法にかゝっていない学校などはまことにみる

かげもない理科設備でございします。私は各学校をまわ

てみて機会均等である義務教育が地域差によつて

格段の格差があるというところ初めてみて驚いたので

あります。その特に教育長さんにもその報告をいた

ところ、三三年までは何とかやうにすると、いうふう

な言葉でありましたけれどもそれは残骸な言葉で

あります。というのは子供は二、三年と、そしてその
貧弱な設備の下に卒業してしまふ生徒も多い。
あつては学校を管理されてゐるかう三年生の時分は
簡単に考へてゐるやうな事も知れませんが設備の
恩恵をうけずして卒業する父兄の身に於ける耐え
られない苦痛であると思ひます。そういう点について
今を予算の配慮をなす、であられるやうか、

・教育長(工藤和子君)お答えいたします

学校の施設設備は、その学校によつて違つてゐる
のはお話し通り事実であります。特に理振法とし
ていふことは学校の理科施設の規模に応じて国の
補助が得られるという事で、その格差の一番目いふく
なものはやゝ不平等な事実であります。そこでわれわ
れといふことは各学校に理振法へ恩恵が適

三才圖會

盛んに買ひ込んでおきた。

市から予算配当は

年度初めにごく細くてそうして九月一〇月になつて
きつと満沢になつてくるやに学校でもいつてあるであ
ります、――の學校教育の面へう申しますと――
学期先生も勢い下り――く子供も最も學習力の旺
盛へとまり子算配きもよく卒業年主へ子供は就
駈にうきみ下やつすといふ、かよううあつて學習に身
が入らなくなつた頃に子算配きが學校に及ぶようで
あります

教育長と――してどうして市の方でその特殊状況といふ
もの下よく訪して年度初に子算配きをしてゐて學習上
かくべからざるもの下學習熱旺盛のときによつていた
め、かうな逆の方迄にお取りになつないか、といふこと下つ
く、と思ひたのであります、が教育長はここの点についてどう
考へてゐるか、

教育長（工藤和平君）私も脇田議員と同じような考えをして
いるものでございまして、本年度の予算を配
当する際には学校へ校長が使いようがないと思ひます
ので、本年度の初めに配分することは賛成でございませう。
しかし御承知のようによ例えは理理法、補助のことも補
助のほうものにつきます。これは国の方が遅いのでござい
まして、果も同様でございませう。それを待ちまさんと
配分ができませんということになるわけではございませう。
できる限りこういうことにつきます。でも文部省、果当
り下ぬれく、団体へ力を借りまして要請してや、て
いきなれと思ひます。

三 脇田順一君 もう一つ伺ひます。が、これはいろいろ財政
上の問題もありまして、ようけれども、房南中、や、二中、一
中、おぼろ月夜のような全く衛生とか、そういう

もの下、度外視してあの教室は館山市教育の一つの大きな問題だと思ひます。あれは文部省制定の規定のルックスがあります。が教育と管理とであう人としてルックスの測定はやゝあると思ふのです。がどうですか、これに対してどうお考えになりますか。

教育長 工藤 和子 君 旧兵舎を便ひして学校へ建物に移しましてはもとく寝泊りするところでありまして、で学校の教室にはまわめてふ向であるということはわかつてあります。便ひしてルックスにおまして、でも中庭の廊下とくは問題にさうはいルックスでございします。しつぱおら根本的の考え方として、それは窓を拡大するよりほかはないと思ひます。われ々電燈の増設に力をつけてあります。がこれはもうほとんどのわすかのルックスで済んでおりまして、根本的の対策に及びませ

んので年次計画でもって解決したいと思つております。

。二番（脇田順一君）大体的に了解して、御存知なうばそれ
下着々実行に移されることと希望いたします。

・議長（山本 昇君）暫時休憩いたします。

一時五五分 休憩

二時一五分 再会

・議長（山本 昇君）休憩前に引き続き会議を開きます。

・三番（三沢 節君）五十四頁千葉果市監査委員協議会頁

担金十二万八千円となつておりますが、この内容が先だ

って館山でこの協議会が開催されるというのと下

庫いたのですが、分担金というのは各市が平等に負

担して抑えは若干の負担を追加してござりますように考

それと七三頁 街灯頁で昨年は二七。灯あゝ々と記憶して下ります。その後つけてはいないようであるしまた本年もその冬常夏あゝといていないようです。これはもう打切のところが、まだ一／＼街灯の必要性的あるような箇所が見受けられます。その点について御答弁願います。

次に一四。夏畧を因係で林道整備事業補助金
としてでて下ります。内容の説明を願います。

総務課長（山口 実君）五五頁三三節負担金のうち千葉果
 市監査委員協議会負担金について申しとげます。
 昨年は予算八千円計上しりましたが、本年は当市が
 協議会、会場で一応果下の監査委員約八〇名が館
 山市に集まり、会議をする事になり、ております。その

地元負担金といふことについて十一万円計といふことである。

建設課長新井重助君街灯費について御説明申し上げ

ます。

本市の街灯は昨年と同様ニヤ。灯でございます。

本年は館山大橋のところは四・ワットの街灯で六灯

ついておりますのでふやしのでございます。橋梁におき

ます照明は当然やるべきものでございます。

なおニヤ。灯はお、下り防犯灯で市営のみついでもの

で今交やります防犯灯。そういう施設は防犯協会

で年次計画でやっております。

。農産統計課長吉田耕一君一四。町林道整備事業費

の内容について申し上げます。

神奈川の県同施行によりまして林道開設をござい

ます。般々作林道といつております。そこへ入休九〇六ヤ

メートル巾三メートルのものとして開設という計画の下に十
ニ万五千円計をいれたいです。一五・町歩
を対象として、七ニ戸の戸数で計画を進めて
まわっているわけですが、大体総工費五〇万程
をいれたいわけですが、その二五％を交付したいと
考えています。十ニ万五千円を計に入れていいます。

次に畑の共同耕作をいいますが、やはり林道の災
害復旧に、いれたいもので、これを定額にして、この
ように考えています。工費の三〇％、四万八千円を見込んで
計に入れていいます。

次に畑のやはり共同耕作をいいますが、林道の災害
いす橋梁災害に、いれたい災害にあてはまるとい
うこと、工費十万程をいれたいと、い
うこと、工費十万程をいれたいと、い
うこと、三〇％、十四万円を計に入れていいます。

次に根本共同林行といふことにて林道を隣接いたす計画の下に大体二〇〇メートル幅員ニメートル程度のものとそこに通つてしまふ川がございまして、そこに木橋を作りまして、の南端をいふことと考えて工費十三万程度を見込んでおるわけでございます、これに却つて三〇〇程度を見込みまして三万九千円、さうして四ヶ所の事業を実施いたしまして林道関係の整備をいふこと、このように考えて計上いたすこと次第でございます。

さうして三沢節君は大体了解いたしまして、林野整備事業に林野の開墾事業が含まれておるか知りないわけでお尋ねしたわけですが、さういふのはないので、

農畜統計課長吉田耕一君の中に含まれておりません。

。三番（三沢 節 君）別圃にありまうすか。

。農産統計課長（吉田耕一君）別圃に林野の南畠というの
は新卒と見とんてございません。

。三六番（通貫社作君）し尿処理施設についてまうす第一ト処
理場と作る場所位置をお願ひします。それかう
処理の概要とお願いいたします。それで、
って施設の概要と御説明願ひします。

。厚生課長（伊藤幸太郎君）第一向でございまして、位置
の肉題は去る一〇日一応申しとらうとて神戸地区の
谷ヶ藤原と第一候補地として予定してあります。
次々といふ予定してあります。処理の方式は加温式
消化槽方式といわれてありますもの、一応予定して
あります。

。処理の概要をございまして、まうす。まず、運搬をいまして、し

尿を投入槽に入れし尿を入る場所がございます
 が投入槽に入ります。そこである程度の脱水をいた
 します。それハラ不純物紙切れ等を別にいらしま
 して糞尿を第一消化槽へ自然に電気装置で送る
 ことになりております。第一消化槽で約一五日間約
 四〇度の熱を加温いたしましてそこでふじゆくさせま
 して固形物と水分それとある程度分離いたす作業
 を行います。まうにこの分離された水分を第二消
 化槽へ送ります。そこでまうに第一消化槽と同様の
 一五日ふじゆくさせまして水分の脱臭。そこに含まれ
 ておりますところのばい菌。それ、たもの、滅菌があ
 る程度そこで作業されます。まうに第二消化槽で一五日
 ふじゆく脱臭いたしましてものがサニタリ槽といつてよ
 りますけれどもそこに送られまして水で濾過される

わけでございす。濾過のろりを水で洗

濯池へ送りましてそこで最後の仕上をいまして

最後の仕上が終了して水で滅菌室へ送りまして

そこで培養滅菌のろりを放流する。そうして

第一消化槽並に第二消化槽にありましてこの固

形物は乾燥室に送ることになっております。今

では天日の乾燥ではなく遠心分離という方式で乾燥

する装置がございましておるそうございまして大体

そのような新しい方法でやらないというところ考えて

おるわけでございます。一から従来は天日にさらし

す乾燥というところでやっておるのでございます。簡単

に申しあげますと以て申しあげた順序にございまして

固形物は乾燥室に残ります。水分はいうくの作業

のろりを結果滅菌のろりとして井戸水とそう

大差のないような景色透明に近い水とすりすりして川に放流するという大体の順序でござります。

それから予算の肉保でござります。三六千にお
まして一応予定してあるものを申しあげたいと思
います。まず土地買収費で七十五万一応予定してあ
ります。予定地というところ約二千坪でござります。
整地費というところ九十万円予定してあります。
玄木の補償費として十萬 水深井戸の設備費とし
て百三十万大体これが工事に付属いたします。全費の
主なものをごさいます。工事の内容表の予算でござ
ります。まず投入槽工事費として今年が百二
十五万、スクリーニかすの処理場設これが二百四十五万。
第一消化槽工事 六百七十一万六千円 第二消化槽工事
四百六十七万、サニプロ槽の工事費 三百八十一万、

沈没槽の工事費九十万円、加温装置置の設備といふ
こと、六百二十七万六千円、機械器具費六十万、その他工
事に要する運搬費を予定して三十三万二千円
その他の諸経費として百十万、合計工事費といふ
こと、二千八百七十四万四千円でございます。それに加へ
まして最初申し送りした付属経費三百十八万、合計
本年分の総経費が三千百九十二万四千円という予定と
なつております。以上の経費をそれぞれ各費目に登
てあるわけでございます。また予算執行で申しま
すと償金でございますがやはり大きな工事でございます
ので臨時的人夫の雇上りその他を予定しておりますので
一万五千円を細くしております。それのうに休みます
消耗器材費として五千円、通信運搬がいろいろの
連絡等含まして三万円、それのうに承消に槽工事費と

一、二千五百六丁六万四千円と計上いたるにわけござ
います。備品費、原材料は一応概算でございます。

次の施設費七十五万円は約二千坪の土地の買収費と
見込んでわけでございます。次の補助金も先日と申
し上げ、土木等の補償金十万円と予定してあります。

需用費でございます。これは工事に要します事務的
な費の概算を各費目に分けて計上いたります。

旅費でございます。これはゆるぎない一般旅費、理場の視察ある

いは果、国等の連絡旅費、それから協力者の謝礼金とし
て一万五千円、これはいつものところ、具体的には予定はあり

ませんけれども入札等に要します合計で建設課等
の内容、下お聞きして一応もつてわけでござ

います。消耗品、これは消耗器材費でございます。

この工事は大きな工事でございますのでいろいろな金合

あるいは関係者の接待 園や果ハウの視察に付します
接待 そういふものも予定して三万円を食糧
費として計上いたした。印刷費 通信運搬費は
こゝに書いてある通りでござります。借料及び損料
もやはり工事に際して臨時に自動車その他の
借上げが予想されますので二万五千円計上してござい
ます。委託料は設計調査委託料といつてございて
顔の点について建設課に今までの例を引用とし
てこの積立を一本予定いたして百二十万計上
いたしてございます。以上大体の予算内容でございます。
三六番(逓貫壮作君) 処理された液体下川に流せば海に入る
海に入る場合の注意でありますかどうがそれを知りたい
それかういふ工事は果かうくる、園かうくる、いろく
接待費といふものはさういふものが重なるというところ

南へておすすが三月で足りすが、その辺の詳しい見解はお聞かせ下さい。

厚生課長伊藤幸太郎君が放流されます水の問題でございすが、もちろん果、厚生省まで参りました。動植物魚、あるいは稲に對して果して害があるかどうかということと係というございまして十分念を入れて伺いたいて参りました。その結果厚生省といつては、全国ですと何百ヶ所やうてありますすがそれに対して、現在に至るまで被害についての実例がない、それ、かう関係、試験所等で放流水を試験いたしまして結果におまして、もちろん害がないというふうなことは、証明してゐるわけでございますが、係というございましては決して害はないのだという氣持で自信下も、て考えてあります。

それかう接待委員の問題でございすすがこれは新しい仕事でございすすの。果してこの額で足りるものがあるいは不足するものかは、さりと考えて取りませんけれども一応この程度で何とか本年分についてはやゝと参りないという考え方で計るゝわけにございすす。

。四番(志村信作君)さういふの問題につきまゝして三万人を対象として六千万円以上のスズ貴下要することには、かゝるゝゝゝ加温消化式であるならば、これだけばかり、うぬように思われるが、いかなる基準下も、これだけ細まれば、

。厚生課長(伊藤幸太郎君)工事委員の問題でございすすが、先ほどもちゝと申して、さういふようにするに全国的にみまゝ何百ヶ所、実施されゝあるわけにございすす。それうのうち特に果多りの考えてお聞きゝ主な業者につまゝゝて従来やゝと参つて取りまゝ工事の内

二 食 日 一 書 金
記等もそれとなく検討いまして大体の線下工事
の内容につきましてだいたいわけでございす。でござ
います。でこの類そのものがミレでい、んだというこ
とでございす。で私の方としましては各所へも下検討
いまして、結果大体の見積りをして計といたしまして
わけでございす。

。四妻志村信作君）私を知る範囲におましては基準が一人
年間一千万円乃至千五百万円位の程でと承知してござ
す。それのう算定いまして、すとい千万位多くないかという気
がいまして、す。が、という基礎で算定いたが、

。厚生課長（伊藤藤幸太郎君）今お話しのことと、一応異な
る一人当たり約千五百万円程おということは一応異な
るも基準に考えているようでございす。とい、す
。つは、その程を補助金の算定へ基準に置いて

あるそうでございます。――實質的の工事につく
まゝは基準額よりある程を上回るといふようなこ
とで今までやつて参つております。

先進地等からみましてもそのようなもの下予定して
あるわけでございます。その点御了承願います。

○西条(志村信作君)――いま千五百円下基準となさうと
いうことですか。私が想像してあります。――基準と同
じです。うす承いります。――かりに千五百円で三
人対象でございまして、千四百五十万円。土地買収そ
の他下入れも――も五千万です。わけです。
六千余万円を廻すわけに對しては、やはり一千万
位多いとみます。この点もう一ぱん。

○厚生課長(伊藤幸太郎君)――今の計算の基礎はいわゆる
る国庫補助金等に對します。額下算定いります。

基礎の額でございます

千二百円乃至千五百円とい

うものは補助金と算定いたす基礎の額でございます

いまして実質上の工事費そのものではないのでござい

ます それから先ほど申しエグジット工事の内容、

あるいは土地買収等につきまして全額国庫補助

の対象にはならないわけでございます 実質の工事

諸需用費そういうものと考へますに一人あたり千五百

円程度ではとうていこれは足りないというように考

えております

二。養蚕生田七郎君は衆処理の問題です、必要性もあ

りやらないかと思つております 従つて当

局の原案に賛成するものであります、その前

提として、今課長の答弁下す、ますと、動植物

海草、稲等においても無害であるという御答弁で

ある。従つてこの予算下取りに私も認めるとい
う。――執行面についてまで余計なお世話といえ
ばそれまででありますけれども市会で議決され
たものは権威ある議決と私も了解してあります。が
執行面におきましては関係市民の方からそれ
を了解してあるならばなお安んじて私もは夢議
に當り得るべきであります。よくところによると一部に
おいて課長さん、回答年へいとも内容についてしくり
納得していない。例えはこの問題について陳情その他
の動きもあると聞いております。この可決後におきま
して執行面について支障があるということになりま
すれば議会そのものが権威ある議決下りたというこ
とに對してと多くの批判を受けるおそれがあるといふな
いのであります。その点につきまして課長さんにお

願いはいいのはそうだし尿処理の完成に伴うい
 わゆる関係市民の了解措置として十分に御努力を
 お願いする、なかどうかその点について御答弁願います、
 厚生課長(伊藤幸太郎君)はい今の御質問にもっとも御
 質問でございます、担当課長といえども、
 ちろんこの問題は考えております、また関係部落の
 方々とも数回にわたりまして説明会あるいは相談
 会等も用いておるわけでございます、一つの例を申し上げ
 ますと先道地の処理場から直接参考資料として処理
 された水そのものも、参考として最後の水が
 こういうものだというふうなことも、実物ともお見せ
 してまた説明もいたしてわけでございます、
 執行面につきましては担当者といえども、これは一部ま
 だ理解のいき届かない点につきましては今後十分

折衝あるいは面接もいたして納得のいくようにでき
るなり努力をいたして、そういうふうな心構えでもつ
てありますので御了承願ひたいと思ひます。

三。菱(菱生田七郎君) 当るの御努力のほどはよく了解いたわ
けでございますが、まうに関係市民ということとは農民
漁民下含めこの市民でありますから、そういう面に
ついての執行上大きな支障をきたすことのないやうに
一段の御努力を御願ひいたして私の質問を終わります。
四。菱(黒川佐太郎君) 関連質問ですが、この問題は流れだす
水というのが重要な問題だと思ふのですが、いま課
長の説明によりますと、減菌が二回ほどされるという
ことと、一々第一次の減菌はどのような方法でなされるか、
それかう困るいやしくも補助をだして起債を認めるという
ような事情でありますれば、その水の権威ある学者

たろの科学を折一たのがある、じゃないか、こういうふう
うに考えてあります。こういうものがあるかどうか、
それから動物にはそう一たあればないけれども植物
に有害であるというような説もあるのです。が、そう
いう点はどうですか、

厚生課長伊藤幸太郎君 滅菌問題でございます。約四
度程度の熱を加えておいて、ふいふとさせるという過程
におきまして大腸菌等は大体死滅する。学説、實際
の面もそのようになつております。一か一なむなふ
念を入れまして最後に放流する前に塩素滅菌を
いまして、放流して、いと考えてあります。

又、今では塩素滅菌の設備はございませんけれども
果の試験所等で検査の結果、菌は大丈夫だ、という
折紙がつけられてあります。

次に學者等によります証明というふうなことでござい
ます。私でござう。証明書に表するようなもので
下手えに呼んで取りませんけれども、実際に仕事に
着手、具体的仕事に入る前に、現在放流しようとし
る川の水と、それから果下でも優秀だといわれて、
ます。茂葉の処理され、水。その他もろろして
果の試験所等へ参ります。実際の検査をやってみ
い。そこで、実は考えがわけございます。今のこ
ろその証明に表するようなもので、下手えにはありませ
ん。議長（山本 昇 君）暫時休憩いたします。

三時

休憩

三時

三〇分 両会

議長(山本昇君)休憩前に引き続き會議を開きます。

三三番(田中祿郎君)三六頁農畜統計課長さん伺います。が
館山酪農協同組合の補助金二十万月計とされてあり
ます。が館山酪農農業組合というものは以前かうう
わさには聞いておりません。というふうな組合で

すか。

農畜統計課長吉田耕一君)御説明申して下さいます。

通告箇所へとします。今後の農村の進み方につきます。て
一節にもございまして。たように従来の酪農畜管方式と
とって参ります。たのは安定した。たも他の業種と
同じような水準へ所得を得られないという観点から
いまして。そして現在の酪農者の乳と。りまして。そ
れを全社に売るということではなくてもう一歩進んだ
段階へと進めよう。時代でありまして。また市長さん

がアメリカのさういふ産業奨励会にやられて参りました。特に畜産奨励委員等に対しては、酪農の今後の歩み方等について諮問を求め、お答えをいただいております。その諮問に答へていろいろ検討、視察等、畜産奨励委員の方へも行われまして、最後はとうとうこうした方々は、せめて市の乳だけで、一ヶ所に集乳いたして、冷却滅菌をして、会社に売るといふ段階にも、っていくべきであるというふうな関係から、畜産奨励委員協議会等を中心に、いろいろして、酪農、農業組合の階級の段階になつて、わけがございまして、組合員が三、四名あります。なおその後、集乳その他の面につきましても、相当困難な状態にぶつかつております。バーバークラ酪農協結成のときも、房州へ進出された四、五ヶ所の乳への関心というものが、強まると知つ

てあります。――で相當の困難にもうちかたなくしてはいけな
いというようなことで現在までやってあるわけではござ
います。――しかし酪農協はあくまでも大きなナーカーと
お決まていくのだという考えは現在もってあります。――
目的はいわゆる酪農生産者自体がやるべき仕事はその
段階がまだという段階で今後実施していくことによ
って乳価の安定をさせて自分たちの所得の増強をは
かると参りたいとこのような精神の下にござるべき
酪農協でございます。

現在の集乳状況下申し上げますと予定の石数まで
まうておりません。――しかしながらミニ名の方々の注意
もくずれませくのでこうな面も逐次市内の酪農者と
と懇談して――酪農協のあり方。今後の酪農生
産の道み方等も説得して――して目的の全乳量

にもっていくという現在に備えて進んであるように思います。また、従って市との酪農行政の面からみても果というく協議を行、にわけですが果としてもそう一々時期であるというように被占一から協力するということと私たちも強くこの面に育成を申し立ててあるような次第で思います。

全済石数として一石二〇石を目標としてあるわけですが、いいます。現在集乳は八石ちょっとでいます。一のみの処理場が今月末に完成する予定でいますので、それまでは二〇石に到達するという考え方で組合の方々も進んであるように思います。私たちもその隙に治つてこの組合の育成に努力したい。このように考えています。

まあ、一々、乳の結集をみてからの房州の乳価と

いうものがとうであつたかといふことと参考までに
 申し上げます。現在まで私たちが売つておつた乳代
 よりも上回る乳代に現在なつておつたようでごまいま
 すが、一かし冬の乳価になると下つておつたのが現状で
 ございます。本年、各乳価は夏乳価よりそのまゝ、
 踏襲してあることもひとりで館山酪協というような
 もの、ためであるという面も一応考へます。反面今
 までの乳価ではずかしく集乳でまじいという時代
 なつてきておつたといふことも考へられまうすが、一
 つにまうた小さな団体であつても、まうた団体の結
 集によつて受けた影響日も大まか、このごまはな
 と考へておるわけではないうる細合に却つて助成
 をするといふことも考へたい。なわけではございませ
 ぬ。一かし、まうたまうた団体も育成するまうた一段

階といふ――で現在苦境にあえいでおります。
この組合が月成のためにせうともこの程度、助成下
お願ひ――して將來でまると思われます。基本法
にのっとる線に近づけるためにお願いいたします。
かように考えまして今回上程いたしたのであります。
。ニ番(田中祿郎君)――いまの課長さんへ御説明趣旨は非常
に結構でございます。――の――がう協同乳業として
いるのも今までの関係で会社とのいも付きということに
なっておりますのでございます。この館山酪農協同組合
は非常にいい趣旨で私うも実は知りたいたいという希望
はも、てあります。またお先真実暗といひます。初め
て説明を聞いたようなわけでございます。内容につ
いてははつきりしたことはわかりません。課長さんの
お話しですとこれ下殺菌して大メーカーに売るといひ

いふような考え方を私達指導して下さすしそう
して考え方があるわけでございます。また「社」に
に契約していきましても一社の期間が融資法に基き
て一年と定めて下さすので一年ずつ続けたい、
―更新も出来ることになり、て下さす。

〇三 釜田中根郎君 課長さんの説明でよくわかりました。
この組合下も、と大きく育てて下さす館山市の牛乳が一
に集荷するような方法下と、てもういい。これに希望
いまして―で私の質肉下打切ります。

〇四 香(松本藤太郎君 九八頁の図書館でございますが二十
四丁よりとみえておいて特に需用費が十数万ふえてお
りまして結構だと思っております。スミ、とお伺いしてい
とは今までは駅前の中にある、そのが現在はい分館に
なつてあるわけですがこれに對して利用率というものは

おとういうふうになつてゐるが、教えていたまゝでよい、また
需用費で十数万ふえてゐるのはどういふところに使
ていくのか。

それかう社会教育費の報償費文化財調査報償費とい
うのべありますが、これはどういふふうなべ—ていくのかま
だ—人し説明下園いたことばないのて教えていたまゝとい
次々—。夏七頃精神薄弱者の援護費でございます。ま
だ二節委託料三万でございます。これも新しくござ
る要するに先生二人頼んで精薄児童について諸
施策—たい。そのために研究するんが、こういう御説
明でございます—で、おとうい、なにと下具体的にやるの
か、また二人へ先生というのは現在あるという先生下
御指導するところか、この点下教えていたまゝでよい。
それかう、富山の新井の三務寺に精薄児童現在九名

あるというところでござります。非常に物価的な面では困つてゐる。また子供は精進見であつて本当にある。そゝえやうなわけが今の面では月謝が払えないという家庭もあると思ひます。もしうんこういうもの下調べるために費用だと思ひますが市々とは三福寺の精進見に対して直接補助してゐるかどうか、金福社協議会で二十万補助してゐるようですがその中から三福寺の学校へも補助するのがこういう点もわかりました。どうお伺いしたいと思ひます。

社会教育課長松本 久 忍 社会教育費の図書館費についてお答えいたします。

今までの図書館は駅前とございまして非常に狭かつたのですが昨年現在の図書館に移転してございまして従つて今まで内容の設備が不十分でありましてついで結算

図書館の生命である図書を買ふというところに力を注
ぎました。備品費も去年に比べて増額されたわけでも
ないです。それから今までは電話もございませんで
すが、今館の電話がそのまゝ残っているやうなものでその
使用料が増額されております。その他燃料費、
今までの室の決か、その中で炭火はござつたのです
が、今度は室が云々ござつたのでストーブも本年と
なりました。そういう燃料費の増へ需用費の増額で
ございます。

次に社会教育費の教員費文化財関係の経費をござい
ます。館山市の中にも最近調査いまして、文化
財関係で非常に価値のあるものが認められておるわけ
でございます。豊後郡所にもあります。また、慶長、族
地帳、寛永の地帳、これは今の土地台帳の大元のもの

でございまして秀吉が慶長三年に命じて作らうとしたものであります。さういふふうなものがところぐみつかるといふのでございまして、ところまゝの調査に當りまして私どもは専門的な知識がございませんので専門的な方に依頼して調査していただくというふうな場合にもその費用を使うというところでございまして、御了解でございます。

福祉事務局長(長谷川右治君)お答へ申し上げます。
精神薄弱児へ関係でございします。三福寺にあります通園施設へ関係から御説明申し上げります。

これは市長の民生要定計画の意味から強力に私どもも進みまして、私どもで満足するまでやりでございます。

三年間で市の経費十四万、福祉協議会あるいは案件金等で十万ばかり出さなければなりません。

その後始めてかうあり通う子供が変らない。これに

は何の通じない原因があるのではないかといいこと
 いろいろ研究してわけていりますが残念ながら
 私どもそういう専門的知識もなくてあります人の
 で何が原因があるのではないかといい大まかに考え
 ても、たわけでございます。そういう面から一つ本年
 度特珠と申します専門家で研究しよう先生にお願
 いしてその原因を探求してもらう、それと合せて予
 供が入る場合の処遇と申します。教育の仕方と
 いうもの、研究していただく。こういう二人の先生を
 教育委員会の推薦によつてお願いする。こういう
 考え方を委託科に設けてわけていります。
 三福寺にありまして館山学園におきましても私どもと
 して三年に及びますので一応市の補助に打ち切ると
 いうか、こうにござりまするが先ほど申しあげま

ーに通り積極的になれ下進めていくという考えの方
から今申しエグリのものかと思ひます。が本年度廃
校になる教育施設等も利用して、こつという考え方下も、
ていねひなりと当初予算では補助金として計入してない
ものでござります。

。三 四 養松本藤太郎君図書館、方は了解いたして、
さうに精進見のオモせム不幸な家庭でござります。で
暖かい政治の手下ーさう仰ばーていなくようにお願
ひいたします。

それかう社会教育費でござります。が全体からみて社会
教育 あつたは体育費というふうなもの、が非常に少いよう
に私は思う。特に今同じさうなところもさうです。が、その
他も少い。今度青少年健全育成費が新設されて、いるよ
うであります。が、たゞこれだけが増えず、てある。何う変わ

りがない。私は社会教育費あるいは体育費というものはいつともみてもあるべきが教育委員会の方で要求しないのかと思う。実際これはい、何かという感じがいつも疑問になる。一般市中においてはこれに対して非常な不満がある。特に私申しあげたいことは社会教育費あるいは体育費というものの、額はするほどたくさんではありませんが大体館山市の場合は百九十一万になるようでは、その費用は館山市の交際費とか食糧費にいうもの、合計とある程度は匹敵するということと、ろろでいっていいと思います。これが右と左の均衡とれるものである。とにかくこれはちよつとすい。同様とすではいかなくとももうサアこの点の重点を置いて教育委員会としてもちやうていたなうなうと思ひます。これは要求しないのか、しても全然だめなのか、その点

合せてお伺いしたいと思います。

市長(田村利男君) 松本議員に市長よりお答えいたします。
教育委員会から社会教育費並びに体育費へ増額方針つ
まきましては熱切に強く要望されていかねけでござい
ます。幸ひして私も体育出身でありましたし私共らの同僚も市
長の意向より解する仲間でございますので今に運動場下
作、マヤカハラ等の時に何千万という費用もかゝるし体育
会館下作の場合にもやはり幾千万の費用もかゝるのでお
前共らも身下も、マヤ手弁当でスポーツをやることに努
力してまいれと申すいうふうなことで幸ひに体育の連
中々ちも協力してまいりますのであり。私共らとしましては
早くスポーツの場下普段儉約してある、蓄積した金
で建て、やりたい、このようない気持でも、マヤあるので御了
承願いたします。

三四番松本藤太郎君 市長さんへお持はさういふ
 言は將來はそこのいふてはさういふ 同僚議員
 の實向でさういふことも聞いてよりますが 最低の責
 用だけは認めてやらせてもらいたい、さういふ点で一段と
 努力してさういふ面にも有効に支助していただくように
 お願いいたします

九番吉田勇治郎君 市役所責について市長さんにお尋ね
 いたします

五方面出張所責というものがあつて現在出張所はた
 いした仕事もごく、この前総務委員会でもよく、警務の
 出張所に参りまして仕事の内容も伺つて、たところこ
 の程度ではあつてさういふ、あつた方がよくうじやないか
 こう私にも感得のでありまして、この肉題について市長
 さんへお尋ねしてお伺いいたします

次に土木費で六九頁に關連してござりまする。又、同様に、課長さんの説明で了とすると、そこがござりまするが重要幹線道路と目される市道が何ヶ所位あつて維持管理の特に悪いところはどうかと、そこがどうかといふ点で、同様にござりますると思ひます。

次に教育費について、お同様にござりまする。予算の内容から見て、一応誠意ある予算と考へますが、市内の小中学校におきまして給水施設がないところ、何校あり、また、お教へ願ひたいと思ひます。

市長（内村利男君）出張所の問題でございますが、現在市におきまして戸籍、原簿と天、それはなうないというふうな立場から、この庁舎の中に移転してわけでございますが、それ下除きますと、出張所の事務は配給事務は、幾つか、うもないうけでございます。――で、将来当然、この出張

所は廃止すべきものだと思つております。

そういう一証左といつて、すでに神戸地区におき
 ましては農業協同組合長と特に話し合ひができて
 金銭の取扱ひ、場所だけ農協におまかせして、あととい
 うのは手続が、ありまして、四月一日から神戸へ出張
 所は廃止するといふことになろうかと思ひます。また
 そのあとの建物は、そのまゝ、神戸の公民館というやうな形
 で土地の青年の要望もありますので残したい。

また館野出張所もかぎり無理がある、たゞですが、繰り上げ
 するといふことは、できれば三六年度中に全部の出張所
 を廃止する線にもつていきたい、このように考へており
 ます。

建設課長(新井重助君)に答へ申してあります。
 市道の中とどの位重要路線があるかとのことでござ

います。私どもも、今考へて下りますのは昭和二十一年は
果通より市道にわたつたものと、下遷式的に考へて下り
ます。
これ下申しをしますと、南町から長瀬町に参る
道路、館山駅前、十字路から駅へ入る道路、那古から九
重に参ります道路、それから都市計画としてやりまし
る道路、北町から那古に参る道路、有營バスの通つてい
る道路、貝物から坂井に至る道路、こういう場合に
考へて理に合ふ重要な幹線道路であり、また海岸道路
ではないです。これが利用通ひ、また参れば、それに連
結する道路、下遷するといふ、どういふわけかと申しまし
と、旧市内にある下遷道路、拡張するに莫大の金がか
かる。市内に入つてくる、利用する貨物よりも、館山市に
通過する貨物の方が多いという結論に達します。この
で、断断道路、下遷軸といふ、そしてそれに連絡する道

ない学校は畑小学校と西小学校の二校でござります。
九番吉田勇治郎君が場所の問題市長さんへ答弁で満足
いります。すがすみやの現状下解消してお場所があ
る。以て効果と与えるように努力願いたいと思ひます。
土不費の問題で建設課長さんへ説明してわりました。
一つ私の方へ考へ方として重要幹線として御説明のあ
る、西岬の比較して申して下さると西岬の貝物小沼
線というものは非常に急傾斜で、しかも湿気が多い。
常々堤防の方でも莫大の修理費がかかっている現状であ
ります。すがすみは、いまして、いります。すがすみは、砂利道
として、管理は不可能な場所。何メートルかある。
そういう所は、経費下省く意味においても、今お計画
で、金、舗装して、安全交通の観点から、も
や、いまして、いまして、私は、考へるのです。すがすみについ

て謀長さんとう孝之うれすか。

それから教育費について畑小学校と西小学校に水道施設がないと幾人もいがないとミろですかう幾うもか、うないのですかう教育環境よくーていまいくといふ意味に於いて何とかよその学校と同ドようにしていまいくと下り願ひするものであります。予算の都合もありろーようないつじろやうていまいけるのかその点もう一度御答弁願ひます。

建設課長新井重助君に答へる

過日申して久々です。が、今の夏物小沼線は省管バスを通つて参りますので路線が悪くありません。直ちに修理しているという現状でござります。又、今お訪の舗装でござります。市内にある舗装道路というものは幾々あるもので約五、七〇メートル

ルという状況でございまして、ので当然維持補修はういて
まして舗装に切り換えていくということは望まして、いふで
ございまして、現状というところで、直ちに小沼線に舗装
するということも、答へてございまして、人々の、いふに、
まして、今後補修の改良というところで、考えて、
まして、

。教育長工藤和平君 先ほどの給水施設の問題ですが、これは
結果において、学校の教育内容に充実するということ、貴
用の一部に、設置費に優先して、というか、こうなると、わけが、
いふ、まして、館山小学校の便所の問題も、同じ状態では、
いふ、まして、けれども、できただけ、近い機会に、このように、考えて
ございまして、

二四番 江田徳太郎君 し尿処理問題につきまして、先ほどか
う、諸議員の発言によりまして、また、議長さんの答へにより

うものでございませう。今市民として尿処理問題は相当
期待下も、ござる。聞くところによりますと一部反対も
あるようですが、これは知識が足りないと思ふ。

私の考えではこの施設を作、ていねいまいというところから
議員にもみていていただくとか土地の人にもみていただくとか
せいのこの実現方下お願いするものであります。そういう
例はどきどきござる。いかというところ伺います。

市長田村利男君 茨城県でござります。それから東西にい、
たときにも見て参ります。また玉野市でござります。こ
れは純海水下も、こや、てあります。現在作、てあるのが
浜浦でござります。鎌倉ではまた別な方法をと、てあ
ります。あそこ、参りは一応御覧になるところだと思ひます。

議長(山本 昇 君) 議事進行についてお諮りいたします。

歳出、部に移ります。また御質疑等あらうかと思ひます。
すな一志歳出、部の質疑と打切りまして歳入、部に移り
まう。また改めて一掃して質疑下行きたいと思ひます。が
これに御異議あるまいやせんか。

(一里「議さ」と呼ぶ者あり)

議長(山本 早 君) 御異議了」と認めます。

よ、歳出、部に移す。質疑は一志打切りまして歳入の
部に移ります。

三四季(飯田 義男 君) 一頁木材引取税でございす。がいつ
も肉題になります。すがなか、これだと駄目なというの
は、どういうわけであり。さうか、これについて御答へ願ひ
ます。

な、あいつは脇田議員の監査委員の発言がありまして、電灯
会社から電柱へ占用料下徴収する、というふうな市長

さん、御発言ありまして、その収入並びに予算に見込
んでないように思うが、その点どうであるか、お答え願
います。

税務第一課長代理（南田 巖 君）木材引取税の件でございますが
これはいつも御指摘の通りなかく、その成果がエラな
ところでございまして、私どもとしては適当な課
税を行うために努力をいたしているわけでございますが、
か実態を把握しにくい現状であります。今後一層努力
して適当な課税を行いたい、このように考えております。
建設課長（新井 重助 君）お答えいたします。

電柱の占用料でございますが、これは三三年の十月頃から東
京電力にわたしまして、支度を進めて参っております。
週般また督促して、ところどころ係のものが転任い
まして、引き継がばならぬ、という答弁でございます。

でそれでは市として困るから市独自で調査するものがあるいは
電力会社も自分の調査してどうなるかという線が交渉い
ろいろなところの下にいろいろしても市の道幅がわか
らぬということになり兼ねれば今を調べるかという線が会社
の方でいろいろ相談してあるわけになります。そればかり
いろいろなるは調査の結果が用というのと比べても下す
予算編成が時すでに困難がつかない関係上一応計上にな
るものというところと今後交渉が進みまする場合には追加
という線が予算化していきまわいと思っております。

二四番飯田義男君　さう木村司取税の問題で下ばいつお尋ね
られても善い下する努力をするというお答えなす下す
具体的にはどのような増収下はかるといふことがない限り
何十年たつても同じことではないかと私は考えます。
従つてどのような完全にとる計画をお立てになすて具体

的に明確にしよう一因御答弁願います。

その要枝の占用料、肉題は取るというところでもあろう
従つて予算にすみやかに入盛つていくことが誠意を示
す証拠になるわけである。――てこの三六年度の予算
に間に合ふのか、そこは残念である。――が、果して三
六年度中に追加予算としてやることと約束できるか
どうか。

市長(田村利男君)＝二頁に道路占用料五万円のことです。
使います。――てなおこれはふたの場合に新しく追加予算と
して計入する。――ミウいうわけである。――

税務第二課長(角田 巖君)木材引取税の点でございすが伐採
届等下調査という――て確定する把握下――ていませう
と考えております。

三四番(飯田義男君)今は、――り――計画のほうですみやか

に計画して、次の機会に具体的にどのような進歩したか
というところをお伺いします。それまでには努力がいろいろ
あるかと。

三九番(遠山ヨネ子君)一三頁 国有提供等所在市町村助成交付金
というのがあります。去年、決算では幾ら交付金が入った
かお聞きたい。それと一昨年、決算が幾らになったか
か。その上でまたお聞きたいです。

・総務課長(山口 実君)三四年が百七十五万円 三五年が
百七十六万二千円

・三九番(遠山ヨネ子君)三十一頁 毎年相当額ふえてくる
のですけれどもいつも早算より決算の方が多いのですね
が、そういうもの、入る前にきき、そのものをきき初めに
お預めになるのか、それとも大体前年式の決算を目標に
してお預めにする、そういうものかお聞きたい。それか
うすね

それは一億の予算の範囲内で配分してあるの
うという事はないのですね

市長(田村利男君) いれゆる爆音に対する補償とか鶏が卵下
生まなくなつた補償下と云ふ意思はないか ミサイル基
地に起つてゐる現象が館山市に起らないかといふのが本
音だと思ひます この百七十万といふのは官有地下館
山市でも、である お上り地方団体に対する固定資産
税でありまして、そういう性質の金とは全然無関係で
あります また鶏が卵下生まないといふ補償は今ゝとこ
ろ館山市では要求する意思はございません

三番(田村喜兵衛君) ちょっとお聞きたいんですが、湊港に
関する問題で湊港下かりにや、なとて交付金がい
うくるのか、ついてきたら百万の工事に對して幾ら位
ついてくるのか、教えていただきたいと思ひます

総務課長(山口 寅君) 交付税の算定基準には港の工事とか
そういうものは入らなせん

三一 田村喜兵衛 工事下や、な場合に交付金がついてくると
思います 算三種三種はどうかのりませんが第一種へ
場合にはついてくると思っています 千倉の港にのりてもついで
くるもの、はかりついていないということはないたと思います
ナ

総務課長(山口 寅君) 施設の算定基準には、なおります
が工事費については積算の基礎になつております

三一 田村喜兵衛 課長さんちよつと考へ違ひだと思つた
工事下や、なとより交付金がかかるわけだが

商工水産課長(羽山 房雄君) 地方交付税関係の金額だと思いま
すが地方交付税については、今総務課長から回答します
一、施設の運賃がいくらあると、そういうものの、数等によ

て算定の基準には入るのですが交付金としていくらと
は、よりいふ金類ではありません。

九番(吉田勇治郎君)備却資産の客体について御説明下願
います。

税務第一課長代理(角田 巖君)御説明申し上げます。
備却資産とは事業の用に供する資産すなわち 機械器
具、工具とかそういうものであります。

九番(吉田勇治郎君)定義でなく例えは十万円以上のものと
これ／＼というふうな御指摘願います。なぜならば備却
資産の客体が七百一十六万七千八百円、こういうことについて
ちよと疑義がある関係上お伺いするわけですから。

税務第一課長代理(角田 巖君)お答えいたします。

備却資産の十五万円以上は備却資産に所有する者が
納税義務者にあります。種類につきましては船舶、車

輛、うち自動車税等下課税するもの下除きます機械と
 の統計の評價額算定され、そのものがこれだけになる
 というつもりで計る、わけでございます。

九登吉田勇治郎君 大体件数が何件位あるか、おわかりでし
 ょうか、御指摘願います。

。税務第一課長代理(角田巖君) 納税義務者の件数でございます
 すが、今手元に詳細な資料がございまして、その中で調査して
 お答えいたします。

。九登吉田勇治郎君 了解いたしました。さういふものはど
 の程度、客体下把握してあるかという疑義下もつものである
 喜んで税下納めるような態勢になっていくためには客
 体へ把握下の確トリーアップは喜んで納めるようになるは
 ない、この七百一十六万七千八百円については後日教えてい
 たいと思います。それで了解いたします。

ニ九番遠山ヨネ子君し尿処理の問題で汲上げも市でや、現場
合の手数料という形であとりにぎりです。まじどの
は、一頁きつつけて下さいませ。

厚生課長伊藤幸太郎君は、今の御質問はし尿の汲取料の
問題でございませう。理をい尿取りにつまみましては業
者下規定いかにございまして市の直営でや、まじりませんので
一本手数料は入らないというところでございます。

三番養生田七郎君は、庶務課長さんにお伺いいたす。四
一更九重農協から電気料として二万円の負担金という
價格をお教へ願います。

次に教育長さんにお伺いします。果ては安房第一高等学校の
房南分校ですか。電気分負担金四万円入って来る。先ほど
お出の面が三十万円負担してあるのではありませんか。いかに多分
負担金という形で計上されてある。年々三十万支出さ

いっているのではありませんが、この整理内容はどうなっているのか、
ポツパツありでやっていると、場合により、果ては高橋に於いて
分担金下りていっていることが適正なりや否や、他
に例ありや否や、市・監査委員、監査対象になるの
ではまいかと思ひますが、運営内容につきましては御答弁
願います。

。総務課長（難波貫寛君） 房南分校、南につまづき、これは総務
課の所管になっておるので、

。三〇 養護生田七郎君（取寄） 一、総務課長に伺います。
議長（山本 昇 君） 暫時休憩いたします。

四時五〇分休憩

五時〇〇分再開

議長(山本 昇) 君 休憩前に引続き会議を開催します。

先日の二。委員長に対する答弁を求めます。

総務課長(山口 実) 君 果ては安房二高房南分校の電気料は

金について申しさります。房南分校の電気料は一括

房南中学校のメーターハウ計算され支払われておるの

でございします。それについて果ては房南分校へ利用

する分の電気料が参るのであります。その参る額を

市へ納入するところという手続まで、に計上していること

は、九重農協の電気料は出張所と農協のやばり一つの

メーターハウ使っており、肉保工場の電気料も市で払ってお

りまうので、農協の使用でも、今下市へ納入させてあります。

二。委員中 祿郎 君 三五頁土木費の事、金は二百九十五万四千

円、これはおそうぐ地元負担金と思っておりますが、どこで下か

放まていまして、

建設課長(新井重助君)その主なものは、漁港の修築に伴い、
 一、果ては負担金がかゝつて参ります。それと地元の寄付
 金を受け入れるというのが主なものであつた。夫業対策事
 業にやゝな道路維持補修におきまして新設ある
 いは舗装する場合には三分の一は、いゝておきます。
 そのほか橋梁工事につきましては負担金は、いゝて
 おきます。そういうものを集計して、二百九
 十五万四千円ということになつておきます。

○ニニ番(田中祿郎君)もう一つお伺いいたします。定は市道
 下りる場合にその負担金でせないから労力によつて負担
 金を出していくということになりまして、一日二百七十円
 以上二百七十円で負担金頼みであるわけではなかつた
 それ以上に工事費ばかりで、それ以上にでた場合
 には支払ひになつていらつた。どうですか。

。建設課長(新井重助君)私の方で支払いはしてありますやつは

建設省で定められた労働省で定められた賃金を基準

としております。その設定額によりますので三分の一以上超

過した場合の労力費下払っております。従来二百七

十月というところから、現在は四百五月でやっております。

議長(山本昇君)議事進行についてお諮りいたします。

一般会計に対する質疑に一応打切りまして、続いて特別

会計へお入りの移りかと思っておりますが御異議ありませんか。

んか。

(「異議あり」と呼ぶ者あり)

議長(山本昇君)御異議ありと認めます。

よって議案第三五号から三九号一括上程いたします。

三一番(田村喜兵衛君)一六九頁之前同向題による、公益施設屋

の丁が聊九時からで五時と聞かぬかというところの下

ところを私へみるところでは富崎、方け地えであるから
夜中でも起きれる。そゝで超過勤務があるが富崎、
人の臨時雇になつてゐるから臨時雇の方に超過勤務
手当てがしてゐるかどうか。

厚生課長(伊藤幸太郎君) 超過勤務手当は一応させることに
なつてゐる。

八重安西政昭君(公益貨屋、子算の減ですがこれは利用
度合が少いというとはどういうことか) 意味するの
当分の見解はお聞かせ願ひたい。

次に工場の子算をやけに減になつてゐる当初と殺教の減
であるというような説明がある、なように記憶して下す
おと殺教が減つたということは大分時代の流れと並行
するようと思えるので下が何の意味するのなという点

次に徳山、たの増築ですが何の厚生省の指示によつて収容

人員の制限ができたというふうな説明を聞きました。それで、まだその外に当初に決定する時に利益があるとかないというところで非常に論議がかわされたのでございます。その後の整理状況というものは、お聞かせ願いたいと思います。

厚生課長(伊藤幸太郎君) 公益貨屋の減の問題で、下口に申しますと、資金の回転率が少なくなるといふことでいわれると思います。いわゆる入貨者の件数、そういうものも減っております。資金の回転も昨年度に比べて、下げて相対減の目玉みであるといふことでございます。

それらと殺の問題をすけれども、館山市へと殺場は、主として豚でございます。豚の殺数が昨年度の一月より、かなり相対減がしております。それで、三六年度の一月より、それらの状況をみまして、若干見込み

下減したわけでございます

・商工水産課長(羽山房雄君)お答えいたします。

旭山荘のたい今までの大休の整理状態でござりまするが
七月開設以来一三月までの客数等下調いたしますと大休
利用率は六〇％になつております。なお増築後の
利用率は七〇％になるか、その点も推定いたします
と八〇％位は見込めます。売上金額でございますが
一二月まで四百六万四千円の上り下りしております。

・八臺安西政治君(公債屋の点で利用主合バ少いというこ

とに非常に豊かになつたというふうな解釈すべきであ
うか、それとも息がとまりそうだと解釈すべきである
か、それと同時に回転率が低いということは言葉下か
えせばこげつゝ美味だと解釈すべきか、その点もう
一度お聞かせ願ひたいと思ひます。

。厚生課長(伊藤幸太郎君)この原因がどこにあるかということ
は非常にあつた。いいことだと思ひますがやはり地域的
な問題もでてくるのではないかと思ひます。一面社会全
体が豊かになつたために利用者が少なくなつたのだとい
うことも一応考へられますけれども一面そのうもお話し
しあつたわけですが、お話ししますが、底をついてしまつて入れ
るものがない、な、なという一部にそういう、に關係もあ
るのではないかと一応考へられます。回転率の問題
でございしますが、こげつたということではございま
せんので一応、で申しあげます事業収入はやはり
貸付金、元金と利子両方で事業収入とみてあるわけが
ございします。それかうもう一つは負債の、場合の売却
の資金、そういうもの、下見込んで取りますが、全体下み
まゝで結論といつてしまつてはやはり貸付金、いわゆる入

前者評教さういふものが理実で昨年一昨年よりと
 比べさうして相当減少してゐるということをごぞいします
 。二番(安西政治君) 結果過玄の実績かうかような予算下
 細んぞ、さう解釈してよろしうございしますね

。厚生課長(伊藤幸太郎君) その通りでございします

。三番(安西政治君) 櫻山荘の問題で下が結る一つの営利施設
 でございさうして多少ゾリとももうかるという線がでるな
 うば増築という線も考之うれると思ふのですがその事
 業成績とでも申さうさうか 決算内容さういふものの
 下例とは十二月末まで結構ですがある程度明示でさ
 ういふこととであります それ下みることにさうして
 こういう増築が意義があるかないかということと下 ある程度
 了解でさうさうで

。商工水産課長(羽山房雄君) の答えいさうさう

試算表が中途で作、たものがあるのではないかと
だ。今手元にございまして、人ので十二月の厚生省の調査によ
って十二月末現在下つかんだものではないかと
歳入の部

四百六十四百七十三月、これは支入の決算額でございま
す。歳出令、決算額が五百八十三万四千四百十八月、この中
には大体人件費、原材料、維持費、その他に償還の利
子、本年おは据置期間中でありまして、で利子一万六千
七十一月だけで済むのではないかと

三大年おのう元金の償還もござるよう事業収入もた
いまの収容数一〇%見込みで十分それで償還を採算利
で採算をとれる、こういう確信下としております

二番（安西政治君）数字的にはおのうが多いようであるが、これは
もろろ繰入れがある、つまりいろんな問題がありまして、こ
う、大規模的に入支出面で見ると、場合と非常に事業

内容といふのめわりは、売エグが幾うあつて幾うの
至費がかゝつて實際には多少のむうけがあるとか損だ
かミういうようなことを伺つてゐるのです。

商工水産課長(羽山彦雄君)といひます。不の数字下も、て
マセン。十月不損益計算書並に貸借対照表下も、て
あつたので御報告いさゝかと思ひます。

損益計算書のうち借方二百七十八万一千五百一円 貸方
三百六十四万三千三百五円 差引三十九万四千八百四円
の利益でござります。なお貸借対照表で申しますと
借方二千二十七万九千八百九十九円 貸方千九百三十八万五
千九百五十五円 差引三十九万四千八百四円、純益ありま
す。

二番(安西政治君)細かいことについては、といわれただけで
はわかりませんが簡単にいへば幾うの売エグがあつてこ

れは、至貴な、て償却する位みて、こういう程で結構でございますが、お答之でござければ、後日結構でございます。大体もうか、ているであろう、^{とい}うことは想像でござい、

商工水産課長(羽山彦雄君)「今手^えも、てあります。人へで後ほどお答之いたします。」

二番(里川佐太郎君)「国民健康保険の問題について、保険料が大幅に増大してあります。これは、今日保険料が受益金のような性格でも、てあります。そこで、この大幅な増高に対しては、市民はひとく大きな問題関心と申します。それ以上のものも、てあるわけであり、どうして、そういう大幅な増高がなされるべきでないか、もちろん私考をします。に、こういう大幅な値上げ、下りなく、では、ない、というところ、ある、苦衷もある、と思ひ、

ます。――我々の立場としては、これに数字的に御説明願いたい。その根拠は、マリアセといふことはい、こう存するものであります。

・保険課長神作啓次郎君に答へたいです。

これについて、参考資料として印刷物を手元に考へて下さる。大抵保険料というものの、実績は三四年四月から十月まで給付の実績を統計的にしております。――そうしてその上昇率を下す第一にしております。昨年の一件の点数が八三・八六という要するに一件八百二十八月六十と云うものがあり、それが三五年の四月から一月までの実績をみますと、それが八五・二六という数字に変わつてまいりました。従つて受診率も三五年の四月からの実績をみますと、三九・六三といふことであつたわけですが、それが今回三〇・八・六八と

いうふうな上昇してまいつたわけであります。こゝに
自然増というものが下ります第一に基礎にいたつて
もの、このAの一件、単価十円掛り一件、点数八五、二六
掛り、一〇〇分の三〇、八、六、さうして一部負担金、この五
割のものが下掛りなわけであります。さうして、その
のうちには結核予防法の公費負担分、下割つたもの、
すなわち保険料、療養給付費、見とまれる額といつて
はわけがございます。その外に衣服も給付範囲の拡大
ということ、で条例、改正下になつて、入院の際の給
食、寝具、下する場合、算定するわけがございます。
それには扱ひとして甲表に適用する分と乙適用分と
二つに分けられなわけがございます。これも同トく当初扱
つた三五年、即ち四月から一〇月までの入院^甲表にでてある
数と乙表の適用者の入院、その人たちの入院、延件数

下ミ、に全部それぐ平均下ミにわけてございます。
 そうしてその甲表乙表のプラスしたものの、五〇%という
 ものに掛けられたものが一人当りの入院の給付額百八十六円
 六十六銭というふうになってわけてございます。それに
 下ミで一応入院の際の給食下ミに、その外に寝具
 という扱いの分下ミ乙の、お一人当りが見とみ額。これは
 五月八十三銭という厚生省へ額下ミすべにわけてござ
 います。それに入口下ミのけて五〇%下ミすわけに入院の際の
 給食と寝具下ミプラスしたものが今度の新しい範囲
 病人の費用額でございます。付表の二でございます。が
 これは今申し上げ下ミに療養給付費の見と額四千三
 百八十万百円というものの、これ下ミ入院の際の給食の見
 込み下ミにわけてございます。これに對する一〇%
 要するに今年の七月から来年の三月九ヶ月分の一〇%下

掛けたものが値入り分の料金をございます。あとは
省畧させていたります。

○三 墨川佐太郎君「貧乏人の子でござん。などと昔からいわ
れておりますが、貧乏くて家族へ多いという人は誠に
お気の毒であります。この率ですが一人きり幾ら
という率で操作するということとは法的でござない向
題です。」

・保険課長(神作啓次郎君)「これは現在として保険料の賦課
方法は法令にうたわれておる。で三六年はこの方式で賦
課して参りましたと思つております。」

○九 墨田木嗣郎君「と殺場のことでお尋ねいたつたのです
が、殺場の豚や牛の頭数が館山と殺場では年々減つて
くるというふうなことでございまして、業者の訴へを聞きま
す。と今頭数が非常に少ない。夏場になるとつぶす。だ

二 第二回 請合
ということ下聞きます。あそこは水が不足しています。一
ぱい汲みではなかつたというふうな始末でそうです。
水の設備が悪いのでそのポンプ施設をやろ意思が
あるかないか。お尋ねいたします。

。厚生課長(伊藤幸太郎君) だが今の団償向ですが三六三年
度の工事請負費に用水ポンプの補助タニクをやろ
予定で予算化してございます。

。議長(山本昇君) この際お諮りいたします。定刻が
近づきましたのでしばらく時間延長いたします。と
思います。これに御異議ありませんか。

(「異議ございません」と呼ぶ者あり)

。議長(山本昇君) 御異議ございませんと認めます。

よって時間延長いたします。

暫時休憩いたします。

五時四五分休憩

五時五五分再開

議長（山本 昇 君）休憩前に引続き会議を閉じます。

三。委員（三沢 節 君）ある校長先生ですが国民健康保険の
お返し納付書がきて組合に加入してもらいたいというて
届けてあげてますが今度月給取りも入ることになり、その
ことです。

。保険課長（神作啓次郎 君）月給取りはその取場に入るとい
うか、いいかということと下確認することが適当だと思
います。

。三。委員（荻生四七郎 君）一七一頁公益質屋の予備費が六十二万円
ほど計上されておるんですが前年と比べて大幅に
増額されておる。一かもこの公益質屋は七十万の赤字

下補てくしてようやくバラニスシートになったというわけだ。こういう膨大な予備費下計エーだということとは事業そのものが大幅に赤字になることと下見通してこういう内容になるのか。あるいはまた償還がないう予定からこういうことと下エーだのか。あるいは市民が全済所得倍増の結果大に値入れ下エーで済むとすむということか。こういうことなのか。これは第一点。

次に五六頁国民健康保険の直営診療施設のうち本年度予算が前年度と比較して十三万増額されておる。これも先日の市会で五十五万補てくして赤字下バラニスだ。ところが実際問題は患者がいないためだ。もしも今年だけ昨年少く収入下予定しておるといふことはあの豊後出張所^す下みやまの改装して内容の整理下する一ステップとして、こういうもの下計エーだの

か、もう一つ旭山荘の増築が計画されてゐるのを丁
が先ほどの課長さんの答弁では何の収入は四百八万で
おが五百八十万だ、これは大きな赤字だ、定額の
大きな黒字だといふまで、どうもあなごのいわれる
ことはつじつまが合へない、しかも複式簿記がある以
上それ下みせていなければ簡単だ、また作るという
答弁だ、千四百八万の新しい事業をふやすと
いうことは研究する、検討する資料を提供せし
てうのみくりろということに等しい、これは課長さん
直ちに反省すべきだ、そういう意味において、ま
りーに答弁を願います。

○厚生課長(伊藤幸太郎君)一頁下ろすとご覧になってい
と思ひます、事業費の貸付金も昨年の当初予算に
比べ、一百万円減下し、一、二百万円減下して

これ下実隙に運営して参ります場合に状況の変化が
ういゝたもの下一応考えられますのでそれ下含めま
して予備費というもへ下相き増額して参つたと
いうわけでございます。それと同時に法を採算の
特別会計でございますので収入支出の一応の調整とい
う意味も含めましてこのようは額下計とさせていた
るわけでございます。

保険課長(神作啓次郎君) 診療所の収入の増ということは先般
説明のとまり申しエグと通り大体七月から去年の
三月までの一点半の値上げが大半の増というこ
とで御了承願います。

商工水産課長(羽山房雄君) 回答いたします。

旭山荘の整理関係でございますが当初複式簿記のである
特々有能な職員下あちうに配置してもしつて複式

簿記による帳簿整理と、こういうことと考えてやうなの
で下へ開設以来約二ヶ月は事に追われまして實際の
帳簿にかゝるものが非常に遅れまして、これが現状でござ
います。一二月に入りまして、まだまだ監査委員が監査
のいひを——ご——の損益計算書でございましてそ
の後、実はこの一月二月の忙しい時期にぶつかりまし
て進んでまいりませんで、そので予算の関係からして新
年主の臨時倉下入りを——でござるだけ早く整理
を終らせたい、こう考えて現在もその職員が日々記
帳はしてありますすが、まだ完全に整理されないのが
現状でございまして

三。菱菱生田十郎君（保険課長）さんの答弁は要するに單価
が上るので増収計と——と一応その点は了解いたして
——、去年のうちに何十萬かの赤字で——て一般

会計上の繰上りすることのないように独り採算の精神に
のっとていくことと希望しておきます。

公益貨屋関係も了解いざうす。

この最後の休養施設の問題ですが少くとも五人の職
員がある。そうして毎日の歳入支出というものは下
の帳簿に記入するというのは少くも五下りの問題
ではない。もう少くあつた自身で複式簿記というもの
の研究してその仕事に當りなさい。

。四重志村信作君は休養施設におまして千六百四十八万七
千円ト元金償還金及び市債の利子に充てておりました
すが何年先になつたら償還の見通しがつくか概
算でいいですが。それと今五五坪の増築をす
るという事です。それがどういう向をいくつ取るか新

しい予算の千四百一十三千円の内容について御説明願ひ

ない。

市長(田村利男君)まだ正式に設計いましてありませんので
何置の向かいづとれるかということはわかりませんが設
計に依頼する場合には大石向十置とか一二置とかいう
室が少くとも八置あるいは六置の向をなくせんとするよ
うに今考えておりますことと申しあげます。

田巻志村信作君)先ほど現在の施設、償還は何年位の見
込みかそれと従来の施設と今迄の施設のあのくの収容
能力ですばみの点で重ねてお尋ねいたします。

高工水産課長(羽山彦雄君)起債償還の年次でございま
すが今年と三六年度と含めまして一五ヶ年、今迄の施
設の大体の収容数でございましてすが一人と坪数から割
りかゝるものでございまして、室の向取りにつきましては
では先ほど市長さんはいわゆる一五ヶ年というに確定はいま

てありまさん。

三三委(山口幸三君)議事進行について申し上げます。

三三今議題となつてあります議案第三四号乃至第三九号予算案に対する質疑はなお多数の発言もあると思ひます。この辺で質疑を打ち切りましてさうに詳細に内容下審議する必要上予算審査特別委員会下設置してこれに一括付託し一審査をお願いいたします。なお委員の数は前例にならぬ一二名位の結構であると思ひます。その選出方法は議長が指名によりいづれかと思ひます。よつてこゝに動議を提出いたします。

議長(山本昇君)三三三委員君より提出の動議は議案第三四号乃至第三九号予算案への質疑はこの辺で打ち切りとして直ちに予算審査特別委員会下設置

—これに一括付託する。なお委員の数は—^二任選任の
方法は議長の名指によるということでありませう。

お諮りいたします。この動議に御異議ございませんか。
(「異議ありません」と呼ぶ者あり)

議長(山本 昇君)御異議ありませんと認めます。

よ。てさう決定いたします。

これより予算審査特別委員会へ委員を指名いたします。

四番議員志村信作君 一〇番議員佐野信君 一一番議

員川名彦吉君 一四番議員江田徳太郎君 一六番議

員石井孝君 二番議員後藤ゆき君 二三番議員吉田

辰雄君 二五番議員鈴木市藏君 二六番議員鈴木彦平

郎君 三二番議員田村喜兵衛君 三三番議員鈴木孝君

三五番議員山口 康君 以上二名より予算審査特別委員

会へ委員を選任いたしますこと御異議ございませんか。

(「里議サ」と呼ぶ者あり)

議長山本 昇君)御里議サと認めます

よって決定いたす

重ねてお諮りいたします。今決定とござります

算審査特別委員会に議案第三四号乃至第三九号予算案を一括付託し、次回、三月二十五日の本会議までに審査を完了し、その経過と結果についての報告を求めらるるようにと、いいと思います。したが、これに御里議ありませうか。

議長山本 昇君)御里議サと認めます。

よってさよう決定いたす。

さういふ選任されし委員の方は、この会議散会後の議場において直ちに正副委員長へ互選を行ひます。ついでに残り下さいますようお願ひいたします。

なお会議日程についてはお諮りいたします。 明十八日本日

に引続き予算案質疑となりて了り了すものとす
本日質疑は終了とす。明日は委員会議
查のため休会とす。明日は委員会議
いすせんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(山本 昇 君)御異議ナシと認めます。

よって明二日は休会と決まりました。

なお三月二十五日の会議で都合により三月二十五日に繰り
上げ変更いたすと思ひますが、これに御異議あり
ませんか。

(「異議ナシ」と呼ぶ者あり)

議長(山本 昇 君)御異議ナシと認めます。

よって決定いたしました。

次回は三月二十五日午後一時開会といたします。

その議事は議案第三〇号、三一号にかゝる文教民生委員
員会及び議案第三四号乃至第三九号予算案にかゝ
る予算審査特別委員会へ各委員長報告討論採
決といつてゐます。

本日へ会議はこゝにて散会といつてゐます。

午後六時二十分散会

